

**第2期大分県スポーツ推進計画
～チャレンジ！おおいたスポーツプラン2021～
の進捗状況について**

1	『第2期大分県スポーツ推進計画』 具体的取組に係る担当課一覧	1
2	目標指標の達成状況	3
3	項目別テーマ進行管理表	

基本目標Ⅰ 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

1	ライフステージに応じたスポーツの推進	
(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進	5
(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進	7
(3)	高齢期におけるスポーツの推進	9
(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進	11
2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進	
(1)	障がい者スポーツの推進	13
(2)	女性のスポーツ活動の推進	15
3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用	
(1)	総合型地域スポーツクラブの推進	17

基本目標Ⅱ 県民スポーツを支える環境づくりの推進

1	「みる」「ささえる」スポーツの充実	
(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進	19
(2)	スポーツボランティア活動の推進	21
2	スポーツ活動の場の充実	
(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実	23
(2)	学校体育施設の充実と有効活用	25
(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備	26
3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実	
(1)	スポーツ情報の収集と提供	28
(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実	30
(3)	企業におけるスポーツ活動の推進	32
(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実	34

基本目標Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 競技力向上のための組織の整備・充実 | 35 |
| (2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化 | 36 |
| (3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進 | 37 |
| (4) 競技力向上に必要な諸条件の整備 | 38 |

基本目標Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり

- | | |
|----------------------------|----|
| (1) 国際スポーツ大会等の誘致 | 39 |
| (2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進 | 40 |
| (3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承 | 41 |

第2期大分県スポーツ推進計画具体的な取組に係る担当所属一覧表

基本目標	分野別施策	項目別テーマ	具体的な取組	企画	福祉保健		教育			体育保健課内					
				芸術文化スポーツ振興課	おおいした創生推進課	健康づくり支援課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算	学校保健・食育	学校体育	生涯スポーツ
I 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成															
1 ライフステージに応じたスポーツの推進															
(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進															
			①幼児期からの子どもの体力向上方策の推進						◎	◎			●		
			②学校における体育授業等の充実							◎			●		
			③スポーツ環境の整備・充実							◎			●		
			④スポーツ少年団等における指導環境の充実							◎				●	●
			⑤スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進							◎			●	●	
			⑥食育の充実							◎			●		
(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進															
			①職場におけるスポーツ活動の推進			◎				◎				●	
			②地域におけるスポーツ活動の推進			◎				◎				●	
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			◎				◎				●	
			④関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実			◎				◎				●	
(3) 高齢期におけるスポーツの推進															
			①地域における高齢者の健康・体力づくりの推進			◎				◎				●	
			②指導者の養成とプログラムの普及			◎				◎				●	
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			◎				◎				●	
			④健康・体力づくりなどの情報提供			◎	◎			◎				●	
(4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進															
			①少年期のスポーツイベントの充実					◎		◎				●	●
			②青・壮年期のスポーツイベントの充実			◎		◎		◎				●	
			③高齢期のスポーツイベントの充実				◎	◎		◎				●	
2 誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進															
(1) 障がい者スポーツの推進															
			①障がい者のスポーツ機会の拡充					◎		◎				●	
			②障がい者スポーツの環境整備					◎		◎				●	
			③障がい者スポーツの競技力向上					◎							
			④障がい者スポーツの優秀選手支援					◎							
(2) 女性のスポーツ活動の推進															
			①女性がスポーツを楽しむための環境の整備							◎				●	
			②スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援							◎				●	●
			③女性指導者の積極的な育成					◎		◎				●	●
3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用															
(1) 総合型地域スポーツクラブの推進															
			①中間支援組織（広域スポーツセンター等）による総合型クラブの質的充実支援							◎				●	●
			②市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大							◎				●	●
			③総合型クラブおおいネットワークとの連携							◎				●	●
			④総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援							◎				●	●
			⑤地域の健康づくり拠点化の推進							◎				●	●
			⑥「新しい公共」を担う総合型クラブの育成							◎				●	●
II 県民スポーツを支える環境づくりの推進															
1 「みる」「ささえる」スポーツの充実															
(1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進															
			①世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進			◎				◎				●	
			②子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供			◎				◎				●	
			③大会を支える審判員等の専門スタッフの育成							◎				●	
			④プロスポーツの推進			◎									
(2) スポーツボランティア活動の推進															
			①スポーツボランティアの啓発			◎			◎	◎				●	
			②スポーツボランティアの発掘と育成			◎		◎		◎				●	
			③スポーツボランティアの活用			◎		◎		◎				●	

	企画	福祉保健			教育			体育保健課内						
	芸術文化スポーツ振興課	おおいいた創生推進課	健康づくり支援課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算	学校保健・食育	学校体育	生涯スポーツ	競技力向上	県スポーツ協会
2 スポーツ活動の場の充実														
(1) 地域の特性を活かした活動の場の充実														
①豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備		◎						◎				●		
②身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備		◎						◎				●		
③天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供		◎						◎				●		
(2) 学校体育施設の充実と有効活用														
①学校体育施設・設備の整備・充実						◎								
②学校体育施設開放事業の促進								◎				●		
(3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備														
①県立スポーツ施設の維持・整備								◎		●		●		
②スポーツ環境を充実させるための施設運営								◎		●		●		
③支援体制の整備に向けた検討			◎	◎	◎			◎		●		●	●	●
3 スポーツを支える組織や体制、仕組の充実														
(1) スポーツ情報の収集と提供														
①スポーツ情報システムの構築		◎		◎	◎	◎		◎				●	●	
②報道機関と連携した情報提供の充実		◎		◎	◎	◎		◎				●	●	
(2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実														
①スポーツ推進体制の整備								◎				●		
②スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進						◎		◎			●	●	●	●
③スポーツ関係団体の整備・充実						◎		◎			●	●	●	●
④関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保						◎		◎			●	●	●	●
⑤研究機関・医療機関・大学との連携								◎				●		
(3) 企業におけるスポーツ活動の推進														
①スポーツの推進に向けた企業との連携・協力							◎	◎				●	●	●
②地域貢献活動の推進				◎	◎			◎				●	●	
(4) スポーツに関する顕彰制度の充実														
①顕彰制度の充実						◎		◎				●	●	●
III 世界に羽ばたく選手の育成														
(1) 競技力向上のための組織の整備・充実														
①競技団体や学校体育団体等の活性化								◎				●	●	
②年代や競技の枠を超えた連携体制の整備								◎				●	●	
(2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化														
①公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上								◎				●	●	
②強化拠点となる学校への適切な指導者の配置								◎				●	●	
③競技者から指導者への好循環サイクルの構築								◎				●	●	
(3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進														
①ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大								◎				●	●	
②関係団体と連携した一貫指導体制の構築								◎				●	●	
③関係団体と連携した強化事業の充実								◎				●	●	
(4) 競技力向上に必要な諸条件の整備														
①スポーツ医学の知見等を活用した支援体制の整備								◎				●	●	
②アスリートが継続的に活動できる就職支援								◎				●	●	
③広報活動の推進								◎				●	●	
IV スポーツによる地域の元気づくり														
(1) 国際スポーツ大会等の誘致														
①大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致		◎												
②国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ		◎												
③キャンプ受入国との継続的な交流の推進		◎												
(2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進														
①国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出		◎												
②市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大		◎												
③まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現		◎												
④スポーツツーリズムの推進		◎												
(3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承														
①ラグビー文化の定着		◎												
②大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進		◎												
③世界トップクラスの国際試合等の誘致		◎												

2 目標指標の達成状況

(1) 指標の達成率の評価基準

各指標の達成率は、以下の基準で評価する。

達成率	評価
① 100%以上	◎：達成
② 90%以上、100%未満	○：概ね達成
③ 80%以上、90%未満	△：不十分
④ 80%未満	×：著しく不十分

(2) 全体的な達成状況

設定数	達成	概ね達成	不十分	著しく不十分
11本	4本 (36.4%)	5本 (45.4%)	0本 (0.0%)	2本 (18.2%)

(3) テーマ別指標の達成状況

① 【基本目標Ⅰ】生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

	内容	評価	目標値	実績値	達成率
R5	① 小5男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	82.9%	76.2%	91.9%
R5	② 小5女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	87.0%	81.2%	93.3%
R5	③ 中2男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	81.8%	75.2%	91.9%
R5	④ 中2女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	92.0%	85.5%	92.9%
R5	⑤ 20代から50代の定期的なスポーツ実施率	○	52.0%	51.4%	98.8%
R5	⑥ 60代以上の定期的なスポーツ実施率	◎	54.7%	70.0%	128.1%
R5	⑦ 総合型クラブの会員数	×	19,500人	14,400人	73.8%

② 【基本目標Ⅱ】 県民スポーツを支える環境づくりの推薦

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 5	① 県立武道スポーツセンター 利用者満足度調査における 「大変良い」「良い」の割合	◎	85.0%	85.2%	100.2%

③ 【基本目標Ⅲ】 世界に羽ばたく選手の育成

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 5	① 人口1万人当たりの公認指 導者数	◎	22.4人	29.2人	130.4%
R 5	② 国際大会出場者数	◎	50人	51人	102.0%

④ 【基本目標Ⅳ】 スポーツによる地域の元気づくり

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 5	① 合宿等受入数	×	85,000人	43,000人 (暫定値)	50.5%

(4) 各指標ごとの詳細情報

※ 次項の項目別テーマ進行管理表に記載

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	義務教育課 /体育保健課
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進	④ スポーツ少年団等における指導環境の充実		
	② 学校における体育授業等の充実	⑤ スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進		
	③ スポーツ環境の整備・充実	⑥ 食育の充実		
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 小学校低学年を対象とした授業の質の向上	④ 指導員等の人材確保		
	② 運動の苦手な児童生徒に視点をあてた授業の工夫改善	⑤ 幼少期を対象とした運動プログラムの提供		
	③ 中学校部活動の地域移行に向けた地域毎の方針策定	⑥ バランスのよい体格づくりを目指した個に応じた支援		
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 体力アップおおい推進事業	178	④ スポーツ少年団指導者・スタッフ研修会	425
	② 体力アップおおい推進事業	178	④ Exseedエクササイズ養成講習会	2,909
	③ 学校部活動改革サポート事業	41,207	⑥ スクールヘルスケア事業	1,687

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組① 体育保健課/学校体育</p> <p>○小学校低学年を対象とした公開授業や授業研究会の開催により、好事例の共有を図り、授業の質の向上に取り組んだ。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/学校体育</p> <p>○小学校体育専科教員24名、小学校体育担任制専科教員2名の配置、中学校体力向上推進校16校の指定により、県内全域の教員の授業力向上を図るとともに、「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりに向け、運動の苦手な児童生徒に視点をあてた工夫改善やICTの効果的活用、運動の習慣化・日常化に向け、学校全体で組織的に行う「1校1実践」に取り組んだ。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/学校体育</p> <p>○中学校の休日の学校部活動の地域クラブ活動への段階的な移行を推進するため、豊後大野市で市内全域の地域移行に向けた実証事業を実施。国東市・由布市では、総括コーディネーターを活用した地域移行の体制整備の取組を展開した。地域毎の方針の策定に向けて市町村訪問や担当者会議を通じて、市町村の進捗状況の把握と課題解決に向けた指導助言を行った。</p>
<p>具体的な取組④ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○子ども達の体力・運動能力向上の基礎づくりを図ることを目的とした、Exseedエクササイズの運動プログラムを習得するため、資格認定講習会、スキルアップ研修会を実施した。資格取得した指導者は、総合型クラブ等の教室において、Exseedエクササイズの指導を行った。</p>
<p>具体的な取組④ 県スポーツ協会</p> <p>○体罰等のハラスメント行為の根絶に向け、指導者の倫理観向上に向けた講演内容を設定し、県及び各教育事務所管内において計12回の研修会を実施した。また、本県独自の指導者更新制度を策定し、本研修会をスポーツ少年団に登録する指導者の更新研修として位置づけている。</p>
<p>具体的な取組⑤ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ交流会において、幼少期の子どもも取り組める「Exseedエクササイズ」「スクエアステップ」「卓球パレー」「ポッチャ」「むかしあそび」等の活動が実施され、運動に親しむ機会を提供した。また、生涯スポーツ協会指導者派遣事業では、「スポーツチャンバラ」や「ベタンク」等のニュースポーツ指導者を幼稚園や小学校等へ派遣した。</p>
<p>具体的な取組⑥ 体育保健課/保健食育</p> <p>○スクールヘルスケア事業の実施により、食習慣・生活習慣の改善、運動習慣の定着による肥満予防と、学校、家庭、医療機関が連携した中等度・高度の肥満改善によるバランスのよい体格づくりに取り組んだ。また、養護教諭や栄養教諭等を対象とした研修会において実践事例の情報共有を行った。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
児童の体力（総合評価C以上※の割合）小5男子	%	R1	82.4	82.9	76.2	91.9	○概ね達成	R12	83.7	学校体育
児童の体力（総合評価C以上※の割合）小5女子	%	R1	86.9	87.0	81.2	93.3	○概ね達成	R12	87.1	学校体育
生徒の体力（総合評価C以上※の割合）中2男子	%	R1	80.8	81.8	75.2	91.9	○概ね達成	R12	83.4	学校体育
生徒の体力（総合評価C以上※の割合）中2女子	%	R1	91.8	92.0	85.5	92.9	○概ね達成	R12	92.2	学校体育

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

体育保健課/学校体育

○ 小学校低学年を対象とした授業研究等に取り組んだ市町村がある一方、幼稚園への教諭の派遣や幼少連携の取組は進んでいない。

→ 引き続き、小学校低学年を対象とした授業の質の向上に向け、各市町村での公開授業や授業研究の実施を働きかけるとともに、幼少連携のあり方について、好事例の共有を図っていく必要がある。

具体的な取組②

体育保健課/学校体育

○ 全国との比較では、体力は高い水準にあるものの、低体力層の割合は全体的に増加傾向にあり、運動実施時間も減少していることから、運動の習慣化・日常化に向けて更なる取組を行っていく必要がある。

→ 運動の苦手な児童生徒に視点をあてた授業の工夫改善や1校1実践の取組の検証・改善を図っていく必要がある。小学校における体育専科教員や体育担任専科教員、中学校の体育推進教員の取組事例の共有や市町村の体力向上プランを基にしたPDCAサイクルの確立により、運動好きの児童生徒を増やし、運動の習慣化・日常化に向けた取組を推進する。

具体的な取組③

体育保健課/学校体育

○ 各市町村で地域の実態を踏まえた地域移行の推進計画の策定を進めているが、地域毎の進捗に差が生じている。

→ 各市町村の進捗差の解消に向けて、関係者間の調整や課題解決に取り組むコーディネーターの配置など、市町村の地域移行に向けた体制整備や地域課題の解決に向けたモデル事業の実践等の取組を支援し、地域への移行を推進する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

○ 幼児期・少年期の子どもたちが単一種目の競技実施に偏ることなく、多様な動きの経験による楽しさ等を実感することを通じて、運動の習慣化・日常化を図っていくことが必要である。また、幼児教育・保育施設関係者等にもExseed養成講習会について周知を行い、資格取得後、指導者が総合型クラブと連携して活動できる仕組みを構築することが必要。

→ Exseed資格認定後、認定者を総合型クラブへ派遣し、クラブ指導者として継続して指導していけるよう働きかけを行っていく。

具体的な取組⑤

県スポーツ協会

○ スポーツ少年団登録指導者の更新研修会と位置づけているため、今年度も多くの指導者が受講した。また、研修会後の事後アンケートにおいても、本研修会の意義や今後の指導のあり方について前向きな意見を回答している方が大多数であった。

→ 子どもたちのよりよいスポーツ環境の整備に向けて、来年度以降も研修内容を常にアップデートし、受講者に最新の情報を届けるとともに、指導者やスタッフの意識改革を図っていく。

具体的な取組⑥

体育保健課/生涯スポーツ

○ 県内の保育園（2回）、子ども園（3回）、幼稚園（1回）、小学校（9回）、特別支援学校（3回）に生涯スポーツ協会加盟団体の指導者を派遣し、子どもたちの楽しく運動に取り組む姿が見られた。

→ 次年度も引き続き、生涯スポーツ協会を通じて指導者を子ども園や幼稚園、小学校等へ派遣し、スポーツに関わりの少ない子どもたちへのスポーツ機会の提供を行っていく。

具体的な取組⑦

体育保健課/保健食育

○ 肥満傾向児の出現率は、全国と比較して高い状況にある。教職員研修を通して、健康課題に対する理解を深めることはできたが、対象児やその家庭に対する働きかけに工夫が必要である。

→ 肥満傾向児の出現率は、全国と比較して高い状況にある。教職員研修を通して、健康課題に対する理解を深めることはできたが、対象児やその家庭に対する働きかけに工夫が必要である。

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 / 体育保健課
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN（計画）】

具体的な取組	① 職場におけるスポーツ活動の推進	④ 関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実		
	② 地域におけるスポーツ活動の推進			
	③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① 働く世代の運動の習慣化	④ 各種職能団体と連携した指導者の養成		
	② 関係団体と連携した地域指導者の発掘・育成			
	③ 日常的にスポーツに親しめる環境づくり			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① みんなで進める健康づくり事業	22,767		
	④ スポーツ医科学知見活用事業	910		

2. 令和5年度に実施した取組【DO（実行）】

<p>具体的な取組① 健康づくり支援課</p> <p>○健康経営事業事業所の拡大を図ることで職場ぐるみで体を動かす取組を促進するとともに、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、職場対抗で歩数の増加を促す取組を行った。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○地域で活躍する健康運動指導士やネイチャーガイド、卓球バレー指導者などと連携して総合型地域スポーツクラブでイベントを開催し、身近な環境で働く世代が運動に親しめる環境を創出した。「おおいた歩得」を活用してイベントや体験会を周知し、広く県民や職場におけるスポーツ活動を推進を図った。</p>
<p>具体的な取組② 健康づくり支援課</p> <p>○健康寿命日本一おおいた創造会議を開催し、地域の健康づくりの好事例を発信した。また、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、職場等のグループによる健康づくりに取り組む体制づくりを推進した。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○SCおおいたネットワークと連携し、誰もが気軽に参加できるスポーツ体験を総合型地域スポーツクラブ交流会を通じて提供した。ユニバーサルスポーツとして、Exseed（エクード）やスクエアステップ、ポッチャや卓球バレーを各地域のクラブが指導者となり参加促進を図り、地域における活動場所の周知を図った。</p>
<p>具体的な取組③ 健康づくり支援課</p> <p>○健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、皆で健康づくりに取り組む気運の醸成を図った。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○シンボリックプログラム創出事業でのイベントや健康体力サポート教室、Exseed養成講習会、ヘルスプロモーター養成講習会等の指導者養成講習会の開催を「おおいた歩得」等で周知することで、より身近で手軽にスポーツに親しむ機会を創出した。</p>
<p>具体的な取組④ 健康づくり支援課</p> <p>○「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間を活用し、運動をするきっかけとなるような環境づくりを推進した。また、運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用してウォーキング協会等各種団体のスポーツイベントの発信を行った。</p>
<p>具体的な取組④ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○安全で効果的な運動プログラムの作成や実践指導ができる指導者の養成に取り組んだ。養成講習会では、医師、大学教授、健康運動指導士等、多彩な講師の講義を受講できるように、オンライン研修と集合研修のハイブリッドの講習会を実施した。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
20代から50代の定期的なスポーツ実施率	%	R2	40.1	52.0	51.4	98.8	○概ね達成	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 令和5年12月末時点での登録健康経営事業所は2,447所あり、登録拡大を図るとともに、健康アプリ「おおいた歩得」を活用した職場対抗戦の参加者数の更なる増加が課題。</p> <p>→ 今後とも健康経営事業所と連携し、健康アプリ「おおいた歩得」の機能を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 働く世代が運動を習慣化するためには、身近な地域で参加できる総合型地域スポーツクラブでのイベントや体験会、サークル等の案内をより積極的に情報発信していくことが必要。</p> <p>→ 身近な地域で気軽に運動に親しめる機会を広報するため、総合型地域スポーツクラブが行うスポーツイベントや教室を県のホームページや「おおいた歩得」を活用してさらなる周知を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 健康寿命日本一おおいた創造会議を開催し、地域の健康づくりの好事例の横展開を図る。また、健康アプリ「おおいた歩得」を活用した取り組みを継続する。</p> <p>→ 無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能等の充実を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 地域住民のニーズに対応したスポーツ活動が日常的に行えるよう、Exseedやヘルスプロモーターの養成講習会（県教委認定）を実施し、指導者の育成を行ったが、総合型クラブ関係者の受講が少なかった。</p> <p>地域住民が身近な総合型クラブで運動等に親しめるよう、より多くの総合型クラブ関係者への各種講習会への参加を促すとともに、総合型クラブとの関わりのない資格認定者をクラブ指導者として活動してもらえよう働きかけを行う。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、皆で健康づくりに取り組む気運の醸成を図る。</p> <p>→ 無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能の充実を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ シンボリックプログラム創出事業では、大分県内6つの総合型地域スポーツクラブにおいて、各地域の自然環境や資源を活かしたイベントの開催。多くの地域住民が参加し、総合型クラブを知る良い機会となった。今後、事業で得たノウハウを他の県内の総合型クラブへ拡充することが必要。</p> <p>→ 事業実施クラブにおいては、本事業で行ったイベントを単年度で終わらせることなく、次年度も継続してイベント化、教室化し、地域住民のニーズに応じていけるよう働きかけを行う。また、事業を実施していないクラブへも事業で得たノウハウ拡充できるよう総合型クラブ関係者が参集する会議や研修会等を通じて共有を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間に健康寿命日本一おおいた推進フォーラムの開催や、街頭キャンペーンを実施するなど、各種団体、企業とともに健康づくり運動に取り組む気運醸成の継続。</p> <p>→ 団体、グループで無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能の充実を図る。また、健康経営事業所と連携し歩得を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。また、「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間での取組を継続して、関係団体への働きかけを強化する。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組④</p> <p>○ ヘルスプロモーター（大分県版健康運動指導士）養成講習会を実施し、9名のヘルスプロモーターを養成した。また、前年度までに養成したヘルスプロモーターの中から、18名を総合型地域スポーツクラブの健康体力サポート教室に派遣した。</p> <p>→ 次年度は、ヘルスプロモーター養成のスキームを見直し、当該年度に養成講習会を修了したヘルスプロモーターも、年度内に健康体力サポート教室に派遣できるようにする。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /体育保健課
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(3)	高齢期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 地域における高齢者の健康・体力づくりの推進	④ 健康・体力づくりなどの情報提供		
	② 指導者の養成とプログラムの普及			
	③ これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 通いの場の拡大・充実	③ 高齢者の意識醸成を図る		
	① イベントや教室等の日常的な運動実施機会の充実	④ 関係機関・団体との連携による効果的な情報発信		
	② 指導者の活動する場の拡大			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 明るい長寿社会づくり推進事業	7,992	② スポーツ医科学知見活用事業	910
	① 高齢者相互支援推進啓発事業	2,000	④ みんなで進める健康づくり事業	22,767
	① 地域介護予防活動推進事業	9,875		
	① 介護予防推進事業	2,723		

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 高齢者福祉課</p> <p>○大分県社会福祉協議会、市町村及び競技団体と連携し、豊の国ねりんピックを開催するとともに、大分県老人クラブ連合会が主催する老人クラブスポーツ大会を支援した。 様々な社会状況においても地域の仲間とのつながりや交流を維持しながら体操等の活動を継続できるよう、オンラインを活用した通いの場の開催拡大に向けた支援を行う。 県内市町村と連携し、「めじろん元気アップ体操(運動機能向上プログラム)を行う住民主体の通いの場の拡大・推進を行う。 また、介護予防活動のさらなる機運向上を図るため、運動(体操)を中心に活動している個人・団体を表彰する。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○県民すこやかスポーツ祭では、高齢者に人気の高い「グラウンド・ゴルフ」等の種目を実施した。また、総合型地域スポーツクラブでは、「健康体力サポート教室」開催し、ヘルスプロモーターを健康運動指導士とともに派遣し、地域における高齢者の健康・体力づくりの推進を図った。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○医師、大学教授、健康運動指導士等と連携し、体力測定や運動指導を行えるヘルスプロモーター(県教委認定)の養成講習会を実施し、9名が本年度資格取得をしている。令和2～5年度の認定者18名を総合型クラブや市町村が開催する『健康体力サポート教室』へ派遣し、ねたきり予防、要介護予防、運動実施の促進を図った。</p>
<p>具体的な取組③ 高齢者福祉課</p> <p>○大分県版フレイルチェックシート等を活用したフレイル予防の普及啓発を強化する。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○総合型地域スポーツクラブが主体となって創出したシンボリックプログラム(トレッキング&ウォーキング、モルック等の軽スポーツ)イベントを開催し、高齢者等のこれまでスポーツに関心がなかった人への働きかけを推進した。</p>
<p>具体的な取組④ 健康づくり支援課</p> <p>○高齢者の運動機会の増加に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用して市町村や各種団体のスポーツイベント情報等の発信を行った。</p>
<p>具体的な取組④ 高齢者福祉課</p> <p>○フレイル予防や「めじろん元気アップ体操」「お口元気体操」の普及啓発媒体の配布等により、生活不活発病予防、口腔機能向上、栄養改善等の介護予防に関する情報を発信する。 住民主体の通いの場等の地域における効果的な介護予防活動の推進を図るため、リハビリテーション専門職等を派遣する。</p>
<p>具体的な取組④ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○「健康体力サポート教室」では、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、健康づくりに関するイベント情報の発信に努めた。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
60代以上の定期的なスポーツ実施率	%	R2	50.7	54.7	70	128.1	◎達成	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION (改善)】

具体的な取組①

高齢者福祉課

- 豊の国ねりんピック、老人クラブスポーツ大会は、新型コロナウイルスの影響により大会が中止や規模縮小となっていたが、通常開催となった。今後はさらに参加者を拡大していくことが重要。住民主体の通いの場の参加率は14.7%で全国1位の実績であるが、概ね横ばい（やや減少傾向）である。また、男性の参加率は全体の4分の1であり、女性より参加が少ない傾向にある。

→参加者の拡大に向け、今後も引き続き、市町村や関係団体と連携を図るとともに、広報活動に力を入れる。引き続き市町村と連携して、通いの場の拡大・充実に向けた取組を進める。特に、地域の多様な介護予防活動を推進し、男性の社会参加促進につながる活動内容について優良事例の横展開を図る。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- 令和5年度の体力・運動能力調査における高齢者の週1回以上の定期的なスポーツ実施者の割合は70%と令和4年度調査結果（62.5%）から上昇した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、運動実施機会がコロナ禍に比べ増えたことが要因であると捉えている。

→県民すこやかスポーツ祭等のイベントの充実や総合型クラブでの健康教室等の日常的な運動実施機会の提供を継続することにより、今後も高齢者の健康・体力づくりを推進する。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- 令和2～5年度までの4年間でヘルスプロモーター（県教委認定）を64名養成してきた。総合型クラブに健康運動指導士やヘルスプロモーター（県教委認定）等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」を実施した。資格を取得した者の活躍の場を総合型クラブに限定せず、地域に拡げていくことが課題である。

→ヘルスプロモーター（県教委認定）養成講習会を引き続き開催し、指導者の育成を図るとともに、市町村や医療機関と連携し指導者を公民館や福祉施設に派遣する仕組みを構築することで、各種プログラムの更なる普及を図る。

具体的な取組③

高齢者福祉課

- 各市町村において大分県版フレイルチェックシートを活用し、フレイルまたはプレフレイルに該当する高齢者を介護予防活動等につなげる仕組みを構築しているところである。

→引き続き、市町村と連携し、大分県版フレイルチェックシートを活用した高齢者の意識醸成を図る。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 総合型地域スポーツクラブの60歳以上の会員数は、R4：5,999人、R5：6,021人と微増している。アフターコロナになったことも足がかりとなり、各クラブのイベントが再開でき、県のホームページや歩得と連携したイベント告知ができた。

→総合型地域スポーツクラブで高齢者対象の「健康体力サポート教室」の実施の際には、「めじろん元気アップ体操」等も盛り込んだ健康づくりのプログラムを行なう。身近な場所で運動に親しめるよう、引き続きホームページや歩得で周知し、高齢者の意識醸成を図る。

具体的な取組④

健康づくり支援課

- 高齢者の運動機会の増加に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用して市町村や各種団体のスポーツイベント情報等の発信を継続。

→市町村等と連携して、健康アプリ「おおいた歩得」の情報発信を積極的に行う。

具体的な取組④

高齢者福祉課

- 大分県版フレイルチェックシート（年間30,000部）、めじろん元気アップ体操パンフレット（年間10,000部）配布。めじろん元気アップ体操の動画は、再生回数27万回を達し、オンライン通いの場アプリ（厚労省の補助により国立長寿医療研究センターが開発）では、全国のご当地体操の中で再生回数順のランキング上位を維持している。市町村が行う介護予防ボランティア・サロンリーダー向け研修や通いの場支援においてリハビリテーション専門職等の関与が進んでいる（3市町11回派遣）。

→引き続き、より効果的な体操の実践を含めた情報発信を行う。また、通いの場等への幅広い医療専門職の関与により、効果的なプログラムの実施を推進する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

- 健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用したり、県内46の総合型地域スポーツクラブを通じて情報提供に努め、イベントや教室等への参加を促した。

→Exseed等の運動プログラムや、総合型クラブの活動状況を紹介するパンフレットを作成し、市町村を通じて配布する。総合型クラブで実施した健康運動指導士やヘルスプロモーター（県教委認定）等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」の中で、福祉保健部が作成した「めじろん元気アップ体操（運動機能向上プログラム）」のパンフレットを配布し、活用する。健康づくり支援課と連携して、健康アプリ「おおいた歩得」に総合型クラブの健康教室やイベント情報を掲載し活動参加を促したりするなどし、高齢者への情報提供を推進する。

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 /高齢者福祉課 障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	1	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 少年期のスポーツイベントの充実			
	② 青・壮年期のスポーツイベントの充実			
	③ 高齢期のスポーツイベントの充実			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 特別支援学校等と連携する地域拠点の整備	② 参加者増加に向けた参加制度改定		
	① 子どもたちのニーズに対応したイベントの充実	③ 高齢者のニーズに対応したイベントの充実		
	① スポーツ少年団事業の更なる充実			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 第18回大分県障がい者スポーツ大会開催事業	3,734	② 第18回大分県障がい者スポーツ大会開催事業	3,734
	① チーム大分未来のスター発掘プロジェクト事業等体験会開催事業	1,700	② 県民すこやかスポーツ祭	1,780
	① シンボリックプログラム創出事業	3,596	② 県民スポーツ大会	8,678
	① スポーツ少年団地域内交流大会	1,082	③ 第18回大分県障がい者スポーツ大会開催事業	3,734
	① スポーツ少年団県内競技別交流大会	570	③ 県民すこやかスポーツ祭	1,780
	② みんなで進める健康づくり事業	22,767	③ 県民スポーツ大会	8,678

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント(チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会(全31回、延べ3,850名)を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○シンボリックプログラム創出事業では、総合型地域スポーツクラブが、地域の未就学児～小学校低学年の運動ニーズに着目し、かけっこ教室やバスケットボール教室、タグラグビー教室を企画運営した。また、生涯スポーツ協会指導者派遣事業では、「スポーツチャンバラ」や「ベタンク」等のニュースポーツ指導者を幼稚園や小学校等へ派遣した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県スポーツ少年大会は、参加応募者が少なく、会場の最少実施人数に満たなかったため中止した。次年度は開催時期を見直すこととしている。地域内交流大会では県内13市町で多様な交流事業を実施した。また、県内競技別交流大会は11の競技で14の交流大会を実施した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、皆で健康づくりに取り組む気運の醸成を図った。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント(チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会(全31回、延べ3,850名)を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県民スポーツ大会における参加選手数減少の課題解決に向け、引き続き「ふるさと制度」と「総合型地域スポーツクラブ制度」を導入し、各郡市スポーツ協会を通じて周知を行い、大会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント(チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会(全31回、延べ3,850名)を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○5月～6月に「県民すこやかスポーツ祭」、9月には「第76回県民スポーツ大会」を大分ブロックを中心に8市2町で開催し、市町村や競技団体を通じて多くの高齢者に呼びかけを行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

<p>具体的な取組①</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント（チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会（全31回、延べ3,850名）を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p> <p>→特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、身近な地域で障がい者がスポーツに親しめる環境づくりを引き続き推進していく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○幼児・児童を対象としたシンボリックプログラム創出事業では、市教委と連携し、市内の全ての小学校の低学年に周知した結果、600名を超える参加希望があり、当日は多くの子どもたちが運動やスポーツに親しむことができた。</p> <p>→シンボリックプログラム創出事業で得たノウハウを他の総合型クラブへ拡充し、各総合型クラブにおいても子どもたちのニーズに応じたイベント開催を行えるよう働きかけを行う。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県スポーツ少年大会は、参加応募者が少なく、会場の最少実施人数に満たなかったため中止した。域内交流大会では県内13市町で多様な交流事業を実施した。また、県内競技別交流大会は11の競技で14の交流大会を実施した。</p> <p>→活動の規模・内容ともにほぼコロナ禍以前の状態に戻り、子どもたちにスポーツ活動への参加機会を確保することができるようになった。今後も参加者が安全・安心に各種交流事業に参加できるように、関係団体とも連携を図り、事業の充実を図りたい。また、県スポーツ少年大会については、開催時期を再度見直し、実施に繋げていきたい。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、皆で健康づくりに取り組む気運の醸成を図る。</p> <p>→無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようにアプリ機能の充実を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント（チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会（全31回、延べ3,850名）を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p> <p>→特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、身近な地域で障がい者がスポーツに親しめる環境づくりを引き続き推進していく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○第76回大分県民スポーツ大会では、「ふるさと制度」で227名（R3：103名、R4：61名、R5：63名）、「総合型地域スポーツクラブ制度」で151名（R3：60名、R4：28名、R5：63名）の合計378名が制度を利用して参加した。</p> <p>→次年度も継続して、「ふるさと制度」と「総合型地域スポーツクラブ制度」への呼びかけを行う。また、「ふるさと制度」の対象を『出身小学校または中学校』とすることで、青・壮年期のスポーツイベントへの参加の拡充につなげたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント（チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会（全31回、延べ3,850名）を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p> <p>→特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、身近な地域で障がい者がスポーツに親しめる環境づくりを引き続き推進していく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○市町村スポーツ協会や市町村競技団体を通じて県民すこやかスポーツ祭や県民スポーツ大会の周知及び参加を呼びかけ、県民すこやかスポーツ祭に7,619人、県民スポーツ大会に7,582人参加した。</p> <p>→引き続き、市町村や競技団体と連携してより多く高齢者が参加しやすい大会を準備するとともに、ホームページ等を活用して大会開催を発信することで参加者の拡大を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	障がい者スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN（計画）】

具体的な取組	① 障がい者のスポーツ機会の拡充	④ 障がい者スポーツの優秀選手支援		
	② 障がい者スポーツの環境整備			
	③ 障がい者スポーツの競技力向上			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 特別支援学校等と連携する地域拠点の整備	③ 障がい者スポーツ競技団体の運営適正化		
	② 障がい者スポーツ人材の確保とマッチング	④ アスリートに対する支援拡大に向けた普及啓発		
	② 安心・安全なスポーツ環境の整備			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 第18回大分県障がい者スポーツ大会開催事業	3,734	③ 全国障害者スポーツ大会派遣事業	6,867
	① チーム大分未来のスター発掘プロジェクト事業等体験会開催事業	1,700	③ 障がい者スポーツ団体振興事業	1,500
	② 初級パラスポーツ指導員養成講習会(日本パラスポーツ協会委託)	250	③ 障がい者地域スポーツ活動支援事業	1,520
	② 競技用装具購入支援事業	778	④ 東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業	3,246
	② めじろんフィールド整備事業	4,925		

2. 令和5年度に実施した取組【DO（実行）】

<p>具体的な取組①</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベントであるチーム大分未来のスター発掘プロジェクトを県内3か所(別府市、竹田市、津久見市)で開催するとともに体験会(全28回、延べ3,820名)を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県生涯スポーツ協会と特別支援学校が連携し、障がいのある子どもたちに、「スポーツチャンバラ」体験会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○県パラスポーツ指導者協議会と連携し、初級パラスポーツ指導員養成講習会(26人養成)を開催したほか、競技に使用する競技用義足等補装具の購入支援事業を市町村と連携して実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○障がいのある児童・生徒に運動意欲を喚起することを目的としためじろんフィールド整備事業を継続し、特別支援学校10校のグラウンドにおいて生徒が安心して楽しめるよう肥料の散布や冬芝の施行等の維持・管理を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○全国障害者スポーツ大会へ大分県選手を派遣するとともに、障がい者スポーツ競技団体の大会開催や県外大会への遠征に対する支援を行った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○パラリンピック等国际レベルの大会に出場する選手の支援者を拡大を図るため、商工団体等に対し障がい者スポーツの普及啓発活動を実施した。</p>	障害者社会参加推進室

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○障がい者がスポーツを始めるきっかけづくりとなるイベント（チーム大分未来のスター発掘プロジェクト等体験会（全31回、延べ3,850名）を開催したほか、コロナ禍前の運営方法にて障がい者スポーツ大会を開催した。</p> <p>→特別支援学校や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、身近な地域で障がい者がスポーツに親しめる環境づくりを引き続き推進していく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県生涯スポーツ協会指導者等派遣事業を活用し、大分県立新生支援学校の子どもたちに「スポーツチャンバラ」の指導者を派遣することができた。</p> <p>→年度の早い時期に特別支援学校へ生涯スポーツ協会指導者派遣事業を周知し、より多くの障がいのある子どもたちに多様なスポーツ機会の充実を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○県バラスポーツ指導者協議会と連携し、初級バラスポーツ指導員養成講習会（26人養成）を開催したほか、競技に使用する競技用義足等補装具の購入支援事業を市町村と連携して実施した。</p> <p>→県バラスポーツ指導者協議会や県障がい者スポーツ協会と連携し、障がい者スポーツの実施に必要な人材の確保とマッチングを進め、障がい者スポーツ環境の整備を進めていく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○グラウンド芝生化は3校の特別支援学校が取り組んでいる。</p> <p>→特別支援学を拠点とした学校施設の管理については、指定管理者と連携して、障がい者のスポーツ環境の整備に取り組む。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○全国障害者スポーツ大会へ大分県選手を派遣するとともに、障がい者スポーツ競技団体の大会開催や県外大会への遠征に対する支援を行った。</p> <p>→障がい者スポーツ競技団体の取組に対する支援を通じて競技力の向上を図り、全国障害者スポーツ大会等で優秀な成績を収められるよう取り組む。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○パラリンピック等国际レベルの大会に出場する選手の支援者を拡大を図るため、商工団体等に対し障がい者スポーツの普及啓発活動を実施した。</p> <p>→2025年に国内で開催されるデフリンピック等も踏まえ、障がい者スポーツ支援者の拡大に向けて、更なる普及啓発に努めるとともに、県内アスリートの発掘及び育成に取り組む。</p>	障害者社会参加推進室

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	女性のスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 女性がスポーツを楽しむための環境の整備			
	② スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援			
	③ 女性指導者の積極的な育成			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 女性が気軽に参加できる運動プログラムの提供			
	② 女性役員の積極的な登用			
	③ 女性指導者が活動できる場の確保			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① シンボリックプログラム創出事業	3,596	③ クラブマネジャー養成講習会	228
	① Exseedエクササイズ養成講習会	2,909	③ スポーツ振興基金事業	17,089
	③ 初級パラスポーツ指導員養成講習会 (日本パラスポーツ協会委託)	250		

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ ジオパーク探索ウォーキングや誰もが親しめる卓球バレーなどのユニバーサルスポーツを取り入れたシンボリックプログラムを総合型地域スポーツクラブが創出し、女性が気軽に家族や友人と参加でき、尚且つ楽しめるスポーツ環境を整備した。また、子育てに関わる女性の運動機会を創出するため、親子で一緒に取り組めるExseedエクササイズの運動プログラムを習得するための養成講習会を年間4回実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分県スポーツ推進審議会委員は、令和5年度の委員改選において、委員定数20名の4割にあたる8名の女性委員(うち、1名は公募委員)を任命した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 令和5年度役員改選により、理事30名中、女性は4名(令和4年度と同数)。選出団体には、積極的に女性を推薦していただくよう働きかけた。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県パラスポーツ指導者協議会と連携し、初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ Exseedエクササイズ養成講習会やヘルスプロモーター養成講習会では、女性指導者の育成を行った。また、公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャーの養成講習会を開催し、総合型地域スポーツクラブの経営を担う女性指導者の育成を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 若手指導者を対象とした研修会(コーチングセミナー)を開催する中で、女性指導者の積極的な育成に向けて、競技団体や学校部活動で活動している女性指導者を研修会の受講者に選考した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 優秀指定選手を対象としたメディカルチェック事業において、女子高校生アスリートの血液検査をおこない、女性アスリート特有の課題解決に向けた指導をおこなった。また、今年度は初めて、女性アスリートを対象とした講習会を開催した。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値	実績値	達成率		年度	数値	
				a	b					
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
<p>○ 女性の子育て世代でも、身近な地域や、日常生活の中の「すまみ時間」を使い無理なく運動を取り入れられ、だれでも参加しやすい、魅力のあるスポーツイベントやプログラムの創出が求められる。</p> <p>→ 子どもと一緒に楽しみながら参加できるスポーツイベントの開催、親子参加型プログラムの創出等を関係団体と連携し、クラブ交流会や、各総合型クラブのイベントや教室などで行い、女性がスポーツに参画しやすい環境を引き続き提供していく。</p>	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
<p>○ 大分県スポーツ推進審議会は、令和5年度が委員改選期であったが、女性委員は8名が任命され、女性委員の割合は40%であった。</p> <p>→ 他のスポーツ関係団体等においても、積極的に女性役員を登用するよう働きかけを行っていく必要がある。</p>	
具体的な取組②	県スポーツ協会
<p>○ 今年度役員改選により、理事30名中、女性は4名（令和4年度と同数）。選出団体には、積極的に女性を推薦していただくよう働きかけを行ったが、選出する加盟団体の役員に、女性が少ないのが現状。</p> <p>→ 各加盟団体に対して、女性役員登用促進に向けた働きかけを進めていく必要がある。</p>	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
<p>○ 令和5年度に養成した初級パラスポーツ指導員26名のうち、女性指導員15名を新たに養成した。</p> <p>→ 県パラスポーツ指導者協議会と連携を図り、女性指導者の養成を引き続き推進する。</p>	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
<p>○ 今年度開催した各種指導者養成講習会では、Exseed10名、ヘルスプロモーター2名、クラブマネージャー3名の女性指導者を養成した。</p> <p>→ 更に関係団体と連携し、女性指導者の発掘を行い、指導者派遣事業等を通して、女性指導者の積極的な育成を図る。</p>	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
<p>○ 基本的に現場で指導している女性指導者が少ない。引退後の女性アスリートに対して、指導できる機会の提供を競技団体と連携して取り組んでいる。</p> <p>→ 現役選手の時からジュニア選手への指導等を経験させ、引退後に指導に携わるきっかけになるよう取り組んでいく。</p>	
具体的な取組③	県スポーツ協会
<p>○ 優秀指定選手を対象としたメディカルチェック事業において、女子高校生アスリートの血液検査をおこない、女性アスリート特有の課題解決に向けた指導をおこなった。また、今年度は初めて、女性アスリートを対象とした講習会を開催した。</p> <p>→ 血液検査後の結果説明会を、17会場で実施し、貧血や栄養不足等に関する事後指導をおこなった。今後も、継続した取り組みを続けることで、女性アスリートの競技力向上が期待される。</p>	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用		
項目別テーマ	(1)	総合型地域スポーツクラブの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 中間支援組織（広域スポーツセンター等）による総合型クラブの質的充実支援	④ 総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援		
	② 市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大	⑤ 地域の健康づくり拠点化の推進		
	③ 総合型クラブおおいネットワークとの連携	⑥ 「新しい公共」を担う総合型クラブの育成		
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① クラブ関係者の人材育成	④ 各クラブへの「登録・認証制度」に向けた支援		
	② 未登録クラブへの登録促進と新たなプログラムの創出	⑤ 関係団体との連携		
	③ 「登録・認証制度」に対応した関係団体との連携	⑥ 地域課題に取り組むクラブの育成		
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① クラブマネジャー養成講習会	228	③ クラブマネジャー養成講習会	228
	② シンボリックプログラム創出事業	3,596	⑤ スポーツ医科学知見活用事業	910
	② クラブアドバイザー配置事業	4,414		

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 専門的知識・能力を持ったクラブマネジャーを養成するための初級・上級の講習会を実施した。また、Exseed指導者養成講習会、スポーツ医科学に基づく指導ができるヘルスポモーター（県教委認定）養成講習会を実施し、クラブ人材の育成を図った。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○ 広域スポーツセンターとの共催で、クラブマネジャー（公認アシスタントマネジャー）養成講習会を開催した。また、JSP0登録クラブに対して、クラブのガバナンス強化に向けて指導・助言を行った。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ JSP0未登録クラブに対して、市町村と連携して登録促進に努めた。また、地域の特性や資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出するシンボリックプログラム創出事業では、市町村や市町村の観光協会等と総合型地域スポーツクラブが協働し、活動の幅を広げた。</p>
<p>具体的な取組② 県スポーツ協会</p> <p>○ 本会内にクラブアドバイザーを配置し、市町村や各総合型クラブに派遣を行い、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスした。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型クラブマネジャー初級養成講習会に係る運営を、総合型クラブおおいネットワークに運営業務を委託し、人材育成を促した。総合型クラブおおいネットワークの役員会や総会に参加し、大分県の総合型地域スポーツクラブの課題やあり方について意見交換及び協議した。県総合型クラブ交流会に際しても、安全な開催運営を支援した。</p>
<p>具体的な取組④ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ JSP0未登録クラブを訪問し、登録制度の趣旨や今後の方向性、登録手続きの説明や申請手続きの支援を行なった。</p>
<p>具体的な取組④ 県スポーツ協会</p> <p>○ 登録済み24クラブで組織する大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の総会を開催した（5月）。次年度に向けた登録認証制度への申請クラブは、更新・新規合わせて34クラブであった。</p>
<p>具体的な取組⑤ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ NPO法人ヘルスフィットネスフォーラムに業務委託して、ヘルスポモーター（大分県版健康運動指導士）養成講習会を実施し、人材育成を図った。また、養成したヘルスポモーターと健康運動指導士を総合型地域スポーツクラブへ派遣する「健康体カサポート教室」を開催した。</p>
<p>具体的な取組⑥ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 現在、本県でも進めている学校部活動の地域移行に係る行政説明や先進地のクラブ関係者を招いての研修を大分県総合型地域スポーツクラブ連絡会や総合型クラブおおいネットワーク主催の研修会等で実施した。総合型クラブが学校部活動の地域移行を含め、各地域の課題解決を行政と協力して取り組むよう働きかけを行った。</p>
<p>具体的な取組⑥ 県スポーツ協会</p> <p>○ SC交流会にて登録認証制度の広報をおこない、広く事業を周知した。また、先進事例研修事業、登録クラブへのガバナンスチェック事業を行い、登録クラブの質的向上を図った。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
総合型クラブの会員数	万人	R1	1.61	1.95	1.44	73.8	×著しく不十分	R12	2.21	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 親子で取り組めるExseed（エクシード）エクササイズ、中高齢者の体力向上の運動プログラムを提供できるヘルスプロモーターとクラブとの連携を図る健康体力サポート教室、各総合型クラブの運営を担う公認アシスタントマネジャーの養成講習会を実施し、クラブ関係者の人材育成を支援できた。</p> <p>→ Exseed（エクシード）エクササイズやヘルスプロモーターの派遣事業を活かし、指導者とクラブとのマッチングを図り、クラブ指導者の人材確保を支援できた。一方、クラブ運営を担うクラブマネジャーの高齢化や新たな人材確保が課題となっており、今後も関係団体等と連携を図り、クラブマネジャーの養成や指導者養成を引き続き行っていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 広域スポーツセンターとの共催で、クラブマネジャー（公認アシスタントマネジャー）養成講習会を開催した。</p> <p>→ 登録・認証制度について今後も広報活動を続け、新たにクラブ運営に関わる人材の確保に努めていく。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが地域の市町村行政や観光協会、競技団体等と様々な分野の協力を得て、身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出に取り組み、九重森林公園スキー場のトレッキング&ウォーキングイベントや動物とのふれあいやジオパーク探索ウォーキング等を実施した。イベントについては、健康アプリ『おおいた歩得』を活用し、広くイベントの周知を図ることができた。</p> <p>→ 令和3～5年度に15箇所の総合型地域スポーツクラブが、地域の様々な分野の協力を得て創出した、身近な地域の特徴を活かしたスポーツイベント等を今後も継続して実施していく。他の総合型地域スポーツクラブにもシンボリックプログラムを参考に、独自イベントをより発展させ進めていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 本会内にクラブアドバイザーを配置し、市町村や各総合型クラブに派遣を行い、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスした。</p> <p>→ 各市町村担当部局と連携を密にしながら、各クラブのサポートをより充実させていく。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 令和5年度は、これまでと同様に総合型クラブマネジャー初級養成講習会に係る運営を、総合型クラブおいたネットワークに運営業務を委託したが、令和6年度からはJSP0登録制度が完全実施となるため、クラブマネジャー養成講習会の実施方法等については検討が必要である。</p> <p>→ 令和6年度からは、クラブマネジャー養成講習会に係る運営業務を大分県総合型クラブ連絡協議会に委託し、実施方法についても見直しを行う。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 令和6年度登録申請したクラブは昨年度より10クラブ増加し、34クラブとなった。コンプライアンスの強化が課題となっていたが、クラブ経営を担うクラブマネジャーへの指導が図れた結果、課題の糸口が見いだされた。</p> <p>→ 各クラブとも財源、運営スタッフの獲得等多くの課題が山積しているのが現状であるが、引き続き「登録・認証制度」への周知を図り、登録クラブと連携した取組が各市町村で推進されるよう市町村スポーツ主管課へ働きかけを行う。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 登録済み24クラブで組織する大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の総会を開催した（5月）。次年度に向けた登録認証制度への申請クラブは、更新・新規合わせて34クラブであった。</p> <p>→ 登録認証制度の周知をし、登録数増加を図ると同時に、登録クラブに対しての還元する事業内容についてより充実させていく必要がある。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ これまで、大学や関係団体等と連携し、総合型地域スポーツクラブ関係者を対象とした「貯金運動サポーター」、「スクエアステップエクササイズ公認指導者」、「ヘルスプロモーター」、「Exseedエクササイズ」の指導者養成を行ってきたが、各クラブでの指導者の活用が課題。</p> <p>→ 次年度も、関係団体等と連携して、ヘルスプロモーター養成講習会を実施し、地域の健康づくりを推進するとともに、育成した指導者の活用の場を構築していくことが必要である。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ 地域の諸課題にクラブとして取り組みたいという思いはあるが、多くのクラブが事務担当者の高齢化や後継者及び運営スタッフの確保に苦慮しており、積極的に新たな取組に踏み出せないのが現状。</p> <p>→ 「新しい公共」を担う総合型地域スポーツクラブの育成には、クラブマネジャーの育成が必須である。また、市町村スポーツ主管課と連携し、地域でスポーツ活動が提供ができる総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるとともに、スポーツ少年団指導者等との連携も検討していく必要がある。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○ SC交流会にて登録認証制度の広報を行い、広く事業を周知した。また、先進事例研修事業、登録クラブへのガバナンスチェック事業を行い、登録クラブの質的向上を図った。</p> <p>→ 学校部活動改革など、地域スポーツ環境変革に係る最新情報を常にアップデートし、今後の地域スポーツを担う総合型クラブとして育成していく必要がある。</p>	<p>県スポーツ協会</p>

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進	④ プロスポーツの推進		
	② 子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供			
	③ 大会を支える審判員等の専門スタッフの育成			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 官民一体となった誘致活動	④ スポーツを応援する機運の醸成		
	② 観戦機会及び交流機会の提供			
	③ 関係団体との連携			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323	③ 地域社会武道指導者研修会	871
	① ツール・ド・九州推進事業	83,083	④ スポーツによる地域の元気づくり事業	31,057
	② スポーツによる地域の元気づくり事業	31,057		

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○10月に福岡県・熊本県・大分県で初開催となった国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2023」において、大分県では日田市を舞台とした大分ステージを開催し、当日は約2万7千人の観戦客があった。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○11月に開催された第42回大分国際車いすマラソン大会において、大分市スポーツ少年団に登録する23団の団員や指導者・スタッフ548名が沿道で選手に声援を送った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○県内で活躍するプロスポーツチームとの連携を図り、サッカー、ラグビー、バレー、フットサルや自転車競技の学校訪問を実施した。また、横浜キャノンイーグルス戦の小学生無料招待を実施し、国内トップレベルの試合を観戦する機会を創出した。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○11月に開催された第42回大分国際車いすマラソン大会において、大分市スポーツ少年団に登録する23団の団員や指導者・スタッフ548名が沿道で選手に声援を送った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○審判員等の資質向上を目的として、公益財団法人日本武道館協力の下、地域社会武道指導者研修会を実施した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○大分トリニータのホームゲームにおいて、県内プロスポーツチームのPR動画を放映し、スポーツに参加する機運の醸成を行った。</p>	芸術文化スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	芸術文化スポーツ振興課
○ ツール・ド・九州2023やキッズスケートボードの全国コンテスト「FLAKE CUP」を県内で開催するなど、国内外のトップレベルのスポーツイベントを継続して誘致できている。	
→ 県、市町村、競技団体、観光団体、施設管理者等の関係団体で組織する大分県スポーツ合宿誘致推進協議会において、情報を共有しながら、継続して誘致活動を行う。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 今年度は、大分市スポーツ少年団の団員・指導者等が世界レベルのレースを観戦できたが、大分市以外の子どもたちへも観戦機会を確保することが課題。	
→ 今後も関係部局や各競技団体等との連携を図りながら、世界・国内トップレベルの試合等を観戦できる機会を創出した。	
具体的な取組②	芸術文化スポーツ振興課
○ 横浜キャノンイーグルス戦の小学生無料招待を実施しているが、今後も多くの子どもたちに試合を観戦してもらうためには、スポーツを身近に感じ、興味をもってもらうことが必要である。	
→ 横浜キャノンイーグルス等のプロスポーツ選手を学校や身近な地域に派遣し、子どもたちがプロスポーツに接する機会を増やしていく。また、県民がプロスポーツチームの試合を身近で観戦できる機会を積極的に提供していくことも必要。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 今年度は、大分市スポーツ少年団の団員・指導者等が世界レベルのレースを観戦できたが、大分市以外の子どもたちへも観戦機会を確保することが課題。	
→ 今後も関係部局や各競技団体等との連携を図りながら、世界・国内トップレベルの試合等を観戦できる機会を創出した。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ 空手道競技において審判講習会を計画・実施し、審判員の資質向上につなげることができた。	
→ 引き続き、各競技団体と連携し、計画・実施する。	
具体的な取組④	芸術文化スポーツ振興課
○ 大分トリニータのホームゲームを活用し、スポーツ関係のPR動画を放映するなど、県民がスポーツへの関心を高めるよう取り組んでいる。	
→ 今後もプロスポーツチームと連携し、活用することにより、県民がスポーツを親しむ機運の醸成を図る。	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(2)	スポーツボランティア活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① スポーツボランティアの啓発			
	② スポーツボランティアの発掘と育成			
	③ スポーツボランティアの活用			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 継続的な啓発活動		② ボランティアの質の確保	
	① 個人ボランティアの受入体制の整備		③ イベント主催者との連携強化	
	② 学校や企業との連携強化		③ ボランティアに係る円滑な連絡調整とマッチング	
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① スポーツによる地域の元気づくり事業	31,057	② 障がい者スポーツサポーター養成事業 (県障がい者スポーツ協会)	200
	① 国際車いすマラソン開催事業	25,000	③ 国際車いすマラソン開催事業	25,000
	② 国際車いすマラソン開催事業	25,000	③ 障がい者スポーツサポーター養成事業 (県障がい者スポーツ協会)	200

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キヤノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができた。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○第42回大分国際車いすマラソンを開催し、約1,600名のボランティアの活動状況を大会記念誌等で紹介した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○別府大分毎日マラソン大会等のスポーツイベントでの企業等を回り、新たにボランティアに参加する企業を発掘するとともに、これまでボランティアとして参加していただいた方にボランティアリーダーとして活躍してもらった。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分国際車いすマラソン開催に当たり、企業ボランティアや県民ボランティアを対象にした事前説明会を開催し、業務ノウハウと大会の意義を説明。また通訳ボランティアグループ「Can-do」とも連携し、大会の円滑な運営と人材の発掘・育成の両立を進めた。さらに、県障がい者スポーツ協会において、障がい者スポーツサポーター養成を実施した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○別府大分毎日マラソン大会など、当課関連のイベントでのボランティア活用だけでなく、希望する方には国際車いすマラソンのボランティア案内を行うなど、連携した取組も進めた。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分国際車いすマラソン終了後、例年、大会に関する反省事項をとりまとめ、次大会の運営に反映させている。 また、県障がい者スポーツ協会が養成した障がい者スポーツサポーターが大分国際車いすマラソンを始め様々活動を続けられるようメール等を活用する即応性のある連絡体制を整備した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○関係市スポーツ主管課とスポーツ推進委員が連携して、別府大分毎日マラソンのボランティアとして活動を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キャノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができている。</p> <p>→ スポーツボランティアの確保に向けて、継続して啓発活動に取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 第42回大分国際車いすマラソンを開催し、約1,600名のボランティアの活動状況を大会記念誌等で紹介した。</p> <p>→ これまでの企業や団体ボランティアのみならず、個人ボランティアの受入も含め障がい者スポーツ協会と連携して進める。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 別府大分毎日マラソンなどでのボランティア活用により、ボランティアへの理解が進むとともに、イベントを通じてボランティア運営ノウハウを蓄積することができている。</p> <p>→ 別府大分毎日マラソンに協力いただいている企業や大学、専門学校等との連携を強化し、継続してボランティアの発掘・育成に取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分国際車いすマラソン開催に当たり、企業ボランティアや県民ボランティアを対象にした事前説明会を開催し、業務ノウハウと大会の意義を説明。また通訳ボランティアグループ「Can-do」とも連携し、大会の円滑な運営と人材の発掘・育成の両立を進めた。さらに、県障がい者スポーツ協会において、障がい者スポーツサポーター養成を実施した。</p> <p>→ 本県のボランティア活動の代表的存在ともいえる大分国際車いすマラソンへの参加を通じて、理解と意欲ある人材の発掘・育成を継続する。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キャノンイーグルスホームゲームなどのスポーツイベントでボランティアを活用することができている。</p> <p>→ イベントの主権者やプロスポーツチームと連携し、継続してボランティアの確保に取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分国際車いすマラソン終了後、例年、大会に関する反省事項をとりまとめ、次大会の運営に反映させている。また、県障がい者スポーツ協会が養成した障がい者スポーツサポーターが大分国際車いすマラソンを始め様々活動を続けられるようメール等を活用する即応性のある連絡体制を整備した。</p> <p>→ 引き続き反省事項を活かした大分国際車いすマラソンの運営を進めていくとともに、障がい者スポーツサポーター制度を活用し、支援ニーズと活動意欲の適切なマッチングを進め活動の活性化を図る。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 別府大分毎日マラソン大会に大分市スポーツ推進委員18名、別府市スポーツ推進委員29名が大会ボランティアとして活動を行った。</p> <p>→ 今後も県内のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ関係者等を県内開催のイベントのボランティアとして活動してもらえるように、各種会議や研修会等で働きかけを行っていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	おおいた創生推進課 /体育保健課
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN（計画）】

具体的な取組	① 豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備			
	② 身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備			
	③ 天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 市町村や各種団体と連携した活動の場の充実			
	② 地域の特色を活かしたプログラムの創出			
	③ モデルケースの情報発信を強化			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① シンボリックプログラム創出事業	3,596		
	② シンボリックプログラム創出事業	3,596		
	③ シンボリックプログラム創出事業	3,596		

2. 令和5年度に実施した取組【DO（実行）】

<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが地域の市町村行政等の協力を得て、身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出に取り組み、九重森林公園スキー場のトレッキング&ウォーキング等を実施した。これらの経験を活かして、地域の景観を活かしたウォーキングイベント等が次年度も継続して実施する計画ができた。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが、シンボリックプログラム創出事業において、管理する地域の体育施設や学校の体育館を利用した、モルックや卓球バレー、スクエアステップ等の誰もが楽しめる軽スポーツが実施できる場を提供した。</p>
<p>具体的な取組③ おおいた創生推進課</p> <p>○ 大分県地域活力づくり地域創生事業補助金を活用し、事業者が計画する地域の活性化につながる取組を支援した。 河川敷という自然環境を活用し、ゴミ拾い(Plockalupp)とジョギング(Jogging)を掛け合わせたプロギングのプログラムを開発・情報提供した。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが地域の市町村行政や観光協会、競技団体等と様々な分野の協力を得て、身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出に取り組み、豊後大野市ジオパーク探索ウォーキングを実施した。これらの経験を活かして、地域の景観を活かしたウォーキングイベント等が次年度も継続して実施する計画が出来た。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが市町村行政や観光協会、競技団体等と様々な分野で連携し、身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出に取り組むことができた。九重森林公園スキー場のトレッキング&ウォーキングイベントや動物とのふれあいやジオパーク探索ウォーキング等の新たな運動プログラムを創出することができた。</p> <p>→ 今後も、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携して、各総合型地域スポーツクラブに対し、地域のスポーツニーズに応えられるよう助言するとともに、市町村と協働して体験会やイベント企画し、広く周知していけるよう引き続き支援を行っていく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブが、地域の課題である高齢者の運動不足に着目し、卓球バレーやモルック、スクエアステップのニュースポーツ体験会を実施し運動機会を提供した。また、地域の人工芝のグラウンドを活用し、市のグラウンド・ゴルフ有志やヴェルスバ大分と連携して、スポーツ活動の場の充実を支援した。</p> <p>→ 総合型地域スポーツクラブが、地域の特色を活かしたスポーツイベントとして県民すこやかスポーツ祭の実施を推進する。また、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携して、各総合型地域スポーツクラブが、市町村と協力し、地域の課題解決に向けたスポーツや運動の体験会やイベントを企画し、実施できるように引き続き支援していく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分県地域活力づくり地域創生事業補助金を活用し、事業者が計画する地域の活性化につながる取組を支援した。河川敷という自然環境を活用し、ゴミ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を掛け合わせたプロギングのプログラムを開発・情報提供した。</p> <p>→ 県民の健康増進や地域活性化に向けて、引き続き市町村や各種団体と連携し、地域の特性を活かしたスポーツ活動の場の充実を支援していく。</p>	<p>おおいた創生推進課</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○ シンボリックプログラム創出事業では、令和3年度～5年度に総合型地域スポーツクラブが企画運営する15プログラムのイベントが開催された。本年度は、総合型地域スポーツクラブが企画運営した九重森林公園スキー場で実施したトレッキング&ウォーキングが大分県生活環境部自然保護推進室が運営する「オオイタおそと時間」で周知し情報発信された。</p> <p>→ 令和3年度～5年度に創出されたシンボリックプログラムの中から県内の自然を活かしたイベントを参考して、風土や景観を楽しむウォーキングやサイクリングイベント等を総合型地域スポーツクラブで引き続き実施していく。情報発信については引き続き、「歩得」等他の部局のシステムと連携して周知を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	教育財務課 / 体育保健課
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(2)	学校体育施設の充実と有効活用		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 学校体育施設・設備の整備・充実			
	② 学校体育施設開放事業の促進			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 学校体育施設の老朽化への対応			
	② 県立学校における体育施設開放校の継続			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 県立学校施設整備事業	4,497,789 の内数		
	② 県立学校体育施設開放事業	850		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組① ○ 体育館改修(宇佐、杵築等)、フェンス等改修(大分上野丘、臼杵等)、プール設備改修(芸術緑丘、日田支援等)、照明設備改修(別府鶴見丘、大分舞鶴、日田林工等)等を実施した。	教育財務課
具体的な取組② ○ 県立学校17校を指定校とし、教育活動に支障の無い範囲で体育館やグラウンド等の体育施設を地域住民に開放した。総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会等に事務手続を委託することで、土日祝日を地域住民に開放できた。	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組① ○ 県立学校体育施設の充実を図るため、老朽化対策の計画的実施などに取り組む必要がある。 → 県立学校体育施設については、定期的で大規模改修を行い、施設の整備・充実を図っていく。	教育財務課
具体的な取組② ○ 小・中学校の学校体育施設の開放は、県内全域でほぼ100%開放できている。県立学校については、17校を開放校に指定している。 → 小・中学校の体育施設の開放状況が高いが、県立学校については、土日の教育活動状況が高いため、部活動を行っていない特別支援学校の体育施設の開放に努める。指定校の体育館やグラウンドの改修工事等で、体育施設の開放ができない県立学校があったが、改修工事終了後は、従前どおり体育施設の開放に努める。	体育保健課/生涯スポーツ

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① 県立スポーツ施設の維持・整備			
	② スポーツ環境を充実させるための施設運営			
	③ 支援体制の整備に向けた検討			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 利用者のニーズを踏まえた機能充実		③ 競技力向上を目的とした中堅指導者の研修事業の2年目を実施	
	② 感染対策の徹底			
	③ 合理的配慮の義務化に向けた普及啓発			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	165,319 1,350	③ 障がい者差別解消・権利擁護推進事業	21,565
	② 県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	165,319 1,350	③ スポーツ振興基金事業	17,089
	② シンボリックプログラム創出事業	3,596	③ 優秀選手メディカルチェック	3,200
	③ 生涯健康県おおいた21推進事業	5,964	③ 医科学研修講座	600

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 施設・設備の保守管理、保安警備の他、排煙窓開閉不良に伴う部品交換など必要な修繕を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 武道教室、レディースバドミントン教室などの自主事業を実施した他、スポーツイベント「みんなのスポーツデー」を開催するなど、県民がスポーツに親しむ取組を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブでは、高齢者や障がい者も参加できる卓球バレー等のユニバーサルスポーツをシンボリックプログラム創出事業のイベントで実施した。また、大分県総合型地域スポーツクラブ交流会では、レゾナック武道スポーツセンターでサウンドテーブルテニスの台を活用し、来場者の体験を実施、スポーツ環境を充実させるための施設運営に務めた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 「生涯健康県おおいた21推進協議会」で県健康増進計画に基づく健康づくり運動の取組状況について情報共有を図った。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 障がいへの理解や差別解消、合理的配慮の推進を図るため、企業・団体向け出前講座を実施したほか、県民向けYouTube動画を制作・配信した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県教育委員会のホームページを通じて、県民誰もが参加できる県民すこやかスポーツ祭等のスポーツイベントや各種指導者養成講習会、総合型地域スポーツクラブのイベント等の紹介を行なった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 競技力向上を目的として、中堅指導者(想定40代)対象の研修事業(次世代を担う指導者研修)の2年目を実施した。新しい時代にふさわしい指導者育成をテーマとして、2カ年にわたる指導者研修を計画し、指導者としてのステップアップを図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 医科学関係機関の協力を得て、優秀指定選手を対象としてサポート事業や、市町村や関係団体が開催する「医科学講座」への講師の紹介や開催経費の補助などをおこなった。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
県立武道スポーツセンター利用者満足度調査における「大変良い」「良い」の割合	%	R1	82.2	85.0	85.2	100.2	◎達成	R12	90.0	管理予算班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 利用者の意見を聞き、改善すべきことがあれば速やかに対応する必要がある。</p> <p>→ 利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望を基にサービス向上を図る。</p>	<p>体育保健課/管理予算</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症が終息しない状況下で、コロナ感染対策が大きく緩和され5類へ移行したが、イベントの開催による利用者感染のリスクはまだある。</p> <p>→ コロナ感染対策が大きく緩和されているが、最低限の対応として、検温実施、出入り口の導線、アルコール消毒などの感染対策を徹底する。</p>	<p>体育保健課/管理予算</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分県総合型地域スポーツクラブ交流会では、総合型地域スポーツクラブと指定管理者が連携し、ユニバーサルスポーツ体験コーナーに卓球バレー等のブースを設けることができた。</p> <p>→ 年齢や性別、障がいのある、なしに関わらず、誰もがスポーツを楽しめる機会を増やしていけるよう、引き続き指定管理者やスポーツ団体等と連携していく。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 「生涯健康県おおいた21推進協議会」を年1回開催。</p> <p>→ 県民の健康寿命の延伸を目的として、様々な支援体制等の情報共有を行う。</p>	<p>健康づくり支援課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 障がいへの理解や差別解消、合理的配慮の推進を図るため、企業・団体向け出前講座を実施したほか、県民向けYouTube動画を制作・配信した。</p> <p>→ 障害者差別解消法が令和3年に改正公布され、合理的配慮が行政機関だけでなく民間事業者にも義務づけられる（公布後3年以内に施行）ことから、動画の配信など様々な取組を通じて、スポーツ施設運営者の障がい者差別解消を図る。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県教育委員会ホームページを見た県民の方から、各種イベント等についての問い合わせが多くあった。</p> <p>→ 県主催のイベントや生涯スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の関係団体に関する情報を県民によりわかりやすく伝えていけるよう改善を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 競技力向上を目的として、中堅指導者（想定40代）対象の研修事業を実施した。</p> <p>→ 次世代を担う指導者研修の第1期生が終了したので、引き続き第2期の計画を実行する。</p>	<p>体育保健課/競技力向上</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 医科学関係機関の協力を得て、優秀指定選手を対象としてサポート事業や、市町村や関係団体が開催する「医科学講座」への講師の紹介や開催経費の補助などをおこなった。</p> <p>→ 優秀指定選手400名を対象に血液検査を実施。その後、結果説明会を17会場で開催。保護者の参加もあり、大変有意義な会となった。医科学講座については、12団体実施。今後も積極的な活用を促して行きたい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(1)	スポーツ情報の収集と提供		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① スポーツ情報システムの構築			
	② 報道機関と連携した情報提供の充実			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① ホームページの認知度向上			
	① SNSの有効活用			
	② 効果的な情報発信・情報提供の検討			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323	② みんなで進める健康づくり事業	22,767
	① 国際車いすマラソン開催事業	25,000	② 国際車いすマラソン開催事業	25,000
	② 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県のスポーツ施設や宿泊施設など、スポーツ合宿に関する情報を一元的にまとめたWebサイト「スポ泊！おおいた」を運用し、スポーツイベントやスポーツ合宿にも適した大分県の多様な魅力を発信した。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ホームページだけでなくTV放送、InstagramやFacebookといったSNSを通じて、大分国際車いすマラソンをはじめ、県内障がい者スポーツに関する情報を提供した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○県教育委員会のホームページでの各種講習会・イベントの紹介、健康アプリ「おおいた歩得」の活用による健康体力サポート教室等の周知に努めた。総合型地域スポーツクラブが開催するシンボリックプログラム創出事業を大分県生活環境部自然保護推進室が運営する「オオイタおそと時間」で周知し情報発信をした。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ホームページ、YouTube、Instagramを活用した情報発信を実施している。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○合宿誘致したトップレベルのチームの合宿情報や地域住民との交流事業の情報をWebサイト「スポ泊！おおいた」に掲載するとともに、報道機関あてにプレスリリースを行い情報発信に努めた。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○報道機関も委員として参加する健康寿命日本一おおいた創造会議を開催し、地域の健康づくりの好事例を共有した。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分国際車いすマラソンの開催に当たり、大分合同新聞やOBS大分放送も主催・共催として連携し、第42回大会や選手に関する様々な情報を県内外に発信した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○県教育委員会広報番組でスポーツに関する情報を発信した。また、県民スポーツ大会では、大分合同新聞社とも連携し、大会結果等について県民に広く情報発信した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○国民体育(スポーツ)大会の開催や結果などを報道機関に情報提供を行い、本県代表選手の情報発信を行った。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ Webサイト「スポ泊！おおいた」の認知度を上げる必要がある。</p> <p>→ 引き続きSNS等を活用したターゲティング広告を行い、幅広く周知していく。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組①</p> <p>○ ホームページ「大分国際車いすマラソン」「大分県障がい者スポーツ協会」、Instagram・Facebook「大分県障がい者スポーツ」による情報発信を行っている。</p> <p>→ 引き続き、各種媒体からの発信を通じて、県民が障がい者スポーツ関連の情報を容易に取得できる環境整備を行う。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 県のホームページでは指導者養成講習会やイベントの紹介が充実しているが、県民の誰もが活用できるような準備が不足している。</p> <p>→ 県のホームページの二次元コードを作成し、指導者養成講習会や、イベントの紹介パンフレット等に活用し、県民の誰もが活用できるように準備を進めていきたい。利用者にとって魅力的な情報を提供することで更なる充実を図る。他部局や関係団体と連携し発信力を高めていきたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ ホームページ、YouTube、Instagramを活用した情報発信を実施している。</p> <p>→ ホームページやInstagramの更新は意識して行った。研修会等の様子をYouTubeにアップし、事後でも研修内容を再度学習できるようにした。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 合宿や交流事業の情報をプレスリリースすることにより、報道機関からニュースや新聞記事として情報発信してもらうことができた。</p> <p>→ 引き続き報道機関への情報提供を行い、あらゆるチャンネルを活用して情報発信の強化に努める。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 報道機関の更なる活用</p> <p>→ 健康寿命日本一おおいた創造会議をより効果的な事例発表や共有の場にする必要がある。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分国際車いすマラソンの開催に当たり、大分合同新聞やOBS大分放送も主催・共催として連携し、第42回大会や選手に関する様々な情報を県内外に発信した。</p> <p>→ 引き続き、各種報道機関と連携し、県内外に大分国際車いすマラソン等障がい者スポーツ関連の情報発信を行っていく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 報道機関と連携してスポーツに関する情報発信を行うことが出来た。</p> <p>→ 引き続き、報道機関との連携を図り、県民にとって魅力的な情報発信を行えるよう努めていきたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 国民体育（スポーツ）大会の開催や結果などを報道機関に情報提供を行い、本県代表選手の情報発信を行った。</p> <p>→ 今後も引き続き、報道機関との連携を図り、本県選手の活躍を広報してもらうよう働きかけていく。</p>	県スポーツ協会

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	/障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツ推進体制の整備	④ 関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保		
	② スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進	⑤ 研究機関・医療機関・大学との連携		
	③ スポーツ関係団体の整備・充実			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① スポーツ振興のための合理的かつ効果的な連携	④ 専門家と連携する運営体制の確保		
	② 関係団体のガバナンス強化に向けた支援	⑤ スポーツ医科学関連団体との連携・協力体制の構築		
	③ 研修を通じた指導者の資質向上			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分県スポーツ推進審議会	390	④ 国際車いすマラソン開催事業	25,000
	② チーム大分強化事業	125,479	④ クラブマネジャー養成講習会	228
	② ガバナンス研修会	125	⑤ Exseedエクササイズ養成講習会	2,909
	③ 学校体育団体振興事業	2,000	⑤ スポーツ医科学知見活用事業	910
	③ 大分県スポーツ推進委員協議会研修事業	2,400		

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 本県におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示した第2期スポーツ推進計画の進捗管理に関しては、体育保健課が事務局となり、他部局担当課と連携し、成果・課題を取りまとめて審議会で報告する。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 県事業の受託をはじめ県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、協会役員や予算・決算等の各種データをホームページ上に公開した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 令和6年度から正式に運用される総合型地域スポーツクラブのJSP0登録制度の登録申請に係る手続きについて、市町村行政と連携を図り、昨年度の仮登録24クラブから10クラブ増加し、34クラブが登録申請を行った。県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会では、審査委員会を設置し、各総合型地域スポーツクラブのガバナンス向上に向けて指導・助言した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 公正かつ適正な経理処理等を行うために、補助金取り扱いに向けた事業説明会を年1回開催している。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 加盟団体、スポーツ少年団指導者を対象にしたガバナンス研修会を実施した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の運営のさらなる充実強化に向け、県職員が協会事務局に参画した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 高体連、高野連へ指導者研修に係る費用を助成。各団体において、指導力向上(事故防止を含む)に係る研修を実施している。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 大分県スポーツ推進委員協議会と連携し、初任のスポーツ推進委員を対象に初任者研修会を実施し、初任者の資質の向上を図った。また、県教育委員会が主催し、大分県スポーツ推進委員研究大会中津大会を4年ぶりに開催した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 年度当初に加盟競技団体事務局長や、スポーツ少年団関係団体、医科学関係団体との会議や協議を実施。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 第42回大分国際車いすマラソンの開催に当たり、新型コロナウイルス感染症を始めとする感染動向を踏まえながら、大会関係者と適宜情報共有を行い、安全・安心の大会運営を推進した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 広域スポーツセンター機能では、クラブ訪問等を通して、スポーツ関係団体ガバナンスコードに基づく一般スポーツ団体の透明性確保に向けた取組についての説明や、運営上の課題把握等を通じて総合型地域スポーツクラブの組織体制を支援した。また、クラブマネジャー養成講習会では、住民が安全・安心してスポーツ活動を行うための組織体制の構築について講義を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○ 選手強化事業に参加する選手、指導者にスポーツ安全保険への加入を推進している。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組④</p> <p>○ スポーツ活動中の熱中症防止について、加盟団体に情報提供を行った。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○ 鹿屋体育大学やNP0法人ウェルスポ鹿屋と連携しExseed指導者養成事業を実施した。また、スポーツ医科学知見活用事業ではNP0法人ヘルス・フィットネス・フォーラムと連携した体力測定の実施やヘルスプロモーター(県教委認定)の養成に取り組んだ。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○各部局が所管するスポーツや健康づくりに関する審議会・協議会への担当職員の参加、スポーツ推進計画の進行管理での調整等については定期的に実施されている。</p> <p>→都道府県におけるスポーツに関する所管は教育委員会から離れ、知事部局で障がい者スポーツや健康づくり等も含めて一元的に行う事例が増えている。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県障がい者スポーツ協会のHP上で、毎年の収支予算・決算書、関係役員・事務局職員といったデータを公表している。</p> <p>→県内の障がい者スポーツ環境の透明性を確保するため、各種データの公表を継続、充実していく。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○令和6年度から正式に実施されるJSP0登録制度に34クラブが申請し、登録申請を行ったクラブは、登録制度導入の趣旨であるスポーツ団体のガバナンス強化について理解することができた。</p> <p>→引き続き、未登録クラブへは登録制度の趣旨を丁寧に説明し、JSP0登録を促していきたい。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○公正かつ適正な経理処理等を行うために、補助金取り扱いに向けた事業説明会を年1回開催した。</p> <p>→事務説明会に出席した代表者が、競技団体内で周知徹底を図ることが課題である。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○加盟団体、スポーツ少年団指導者を対象に、ガバナンス研修会を実施。</p> <p>→今年度は、日本スポーツ協会の岩田事務局長を招聘し、「スポーツにおいてガバナンス・コンプライアンス確保はなぜ必要か」と題してご講義いただいた。今後も、タイムリーな内容の研修会にしていく必要がある。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分県障がい者スポーツ協会の事務局として、県職員7名、専任職員5名が在籍している。</p> <p>→引き続き県職員が協会事務局に参画し運営のさらなる充実強化を進めるとともに、運営費財源の確保に向けて民間助成や協賛企業の獲得に向けた取組を継続する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○学校体育団体（県高体連・県高野連）において、体罰等のハラスメント行為撲滅、事故防止対策、スポーツ医学を活用した研修会を開催している。県中体連では、部活動の地域移行に伴う大会参加規定の見直しを行っている。</p> <p>→指導者の資質向上に向けた研修を継続・充実させていく必要がある。また、中学校の部活動の段階的な地域移行を進める中で、中体連と連携し大会の在り方や参加規定の見直しの協議を続けていく必要がある。</p>	体育保健課/学校体育
<p>具体的な取組③</p> <p>○スポーツ推進委員初任者研修会、大分県スポーツ推進委員研究大会等で、学校部活動の地域移行・地域連携について、研修・ディスカッションすることで、スポーツ推進委員の資質の向上を図った。</p> <p>→次年度も、スポーツ推進委員初任者研修会と大分県スポーツ推進委員研究大会等、スポーツ推進委員のコーディネーターとしての資質の向上を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○年度当初に加盟競技団体事務局長や、スポーツ少年団関係団体、医学関係団体との会議や協議を実施。</p> <p>→本会の事業説明や事務手続き方法などを説明し、円滑な事業推進に努めた。今後も機会ある毎に周知していく必要がある。また、医学関係団体との連携は、様々な面において重要となってくるため、良好な関係を築いていく必要がある。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組④</p> <p>○第42回大分国際車いすマラソン参加者/選手188名（国内143名、海外45名）、協力者・ボランティア約1,600名等多くの選手・関係者が参加</p> <p>→大分国際車いすマラソンをはじめ県内障がい者スポーツの各種大会やイベントで安全・安心な障がい者スポーツの推進に向けた体制づくりを継続する。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○各地域のスポーツ活動の拠点となる総合型地域スポーツクラブにおいて、住民が安全・安心に活動できるよう、引き続き各種会議や研修会等でクラブの安全管理については指導・助言していく必要がある。</p> <p>→クラブ訪問等を通して、クラブでの安全管理が徹底できているか確認していく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○選手強化事業に参加する選手、指導者にスポーツ安全保険への加入を推進している。</p> <p>→全ての競技団体が加入をしていない、競技によっては独自の保険に加入している。保険の補償内容が十分であるかの確認が必要。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組④</p> <p>○スポーツ活動中の熱中症防止について、加盟団体に情報提供をおこなう。</p> <p>→県からの通知に基づき、加盟団体やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど関係各所に周知を図った。今後も、必要に応じて、情報共有していく。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○研究機関等との連携により充実したプログラムの提供が可能となっている。受講後に行われる検定試験合格者には、Exseedエクササイズ指導者資格は18名、ヘルスプロモーター（県教委認定）9名が認定された。</p> <p>→次年度も養成したヘルスプロモーターを、総合型地域スポーツクラブ等に講師として派遣するとともに、関係機関や関係団体へも養成講習会の実施について幅広く周知し、さらなるヘルスプロモーターの養成を図っていく。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	健康づくり支援課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(3)	企業におけるスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	① スポーツの推進に向けた企業との連携・協力			
	② 地域貢献活動の推進			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 企業や地域における障がい者スポーツの普及啓発		② 企業や地域における障がい者スポーツの普及啓発	
	① シンボリックプログラムサポート委員との連携強化		② 協力企業と地域貢献を通しての連携強化	
	① トップアスリート就職支援事業の周知			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① チーム大分未来のスター発掘プロジェクト事業等体験会開催事業	1,700	② 国際車いすマラソン開催事業	25,000
	① シンボリックプログラム創出事業	3,596	② シンボリックプログラム創出事業	3,596
	① チーム大分強化事業	125,479	② チーム大分強化事業	125,479

2. 令和5年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 健康づくり支援課</p> <p>○働く人の健康増進を会社の成長につなげようとする健康経営の普及と健康経営事業所の登録拡大に努め、事業所ぐるみで健康増進に取り組む企業・団体の増加を図った。</p>
<p>具体的な取組① 障害者社会参加推進室</p> <p>○地域での障がい者スポーツ体験会を行うに当たり、県内企業等に勤める障がい者スポーツ選手らを指導者として県内各会場へ派遣した。スポーツをやりたい障がい者が気軽に挑戦できる機会醸成のため、県内で体験会を開催し、県内企業に勤める障がい者アスリートらが講師として派遣された。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○シンボリックプログラム創出事業において、経営・観光・広報等の専門家によるサポート委員会を設置し、委員として企業関係者を招いた。クラブの企画案について、プログラム創出に向けた助言を受け、地域の資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出し、企業と地域が連携・協働したスポーツイベントの開催を行った。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/競技力向上</p> <p>○競技力向上に向けたトップアスリートの就職支援に、本県の経済団体と連携して取り組んだ。7名のアスリートの就職内定が決まった。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○企業と連携し、スポーツイベントを実施。また、年間を通して企業訪問をおこない、賛助会員となっていただくよう協力依頼をしている。</p>
<p>具体的な取組② 障害者社会参加推進室</p> <p>○第42回大分国際車いすマラソンの運営に当たり、大会史上最多の51社の協賛など障がい者スポーツへの理解や社会貢献に意欲ある企業による支援が行われた。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○総合型地域スポーツクラブが開催するシンボリックプログラムにヴェルスバ大分がフットサルブース体験を担当したり、バスケットボールの元プロ選手を講師として、地域の子ども達へ体験教室を開催し運動の機会を提供、地域貢献を果たした。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/競技力向上</p> <p>○トップアスリート就職支援事業で他県出身の選手の内定が1名いた。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

具体的な取組①	健康づくり支援課
○ 令和5年12月末時点での登録健康経営事業所は2,447か所あるが、事業所ぐるみで健康増進の取組、健診状況の100%把握、受動喫煙防止対策等5つの基準をクリアしている認定事業所は令和4年度末で793か所にとどまっているため、事業所と連携して認定事業所の増加が必要。	
→ 今後とも健康経営の普及と登録及び認定健康経営事業所の拡大の取組を推進する。	
具体的な取組①	障害者社会参加推進室
○ 令和5年12月末時点で、地域や学校での障がい者スポーツ体験会が28回開催され、うち県内企業等に勤める49名の障がい者アスリートらが講師として県内各地に派遣された。スポーツをやりたい障がい者が気軽に挑戦できる機会醸成のため、県内3市（別府市、竹田市、津久見市）で体験会を開催し、県内企業に勤める障がい者アスリートらが講師として派遣された。	
→ 引き続き、県内企業に勤める障がい者アスリートらの講師派遣を通じて、身近な地域で障がい者スポーツが取り組める環境づくりを進める。加えて、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを継承するため、障がい者スポーツの県内企業の理解促進と障がい者アスリートに対する支援機会の拡大も図る。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ シンボリックプログラム創出事業において、6クラブが実施した。企業関係者のサポートにより、きめ細やかなサービスが提供できた。	
→ 事業を行った総合型地域スポーツクラブにおいても、本事業で得たノウハウを拡充し、今後も総合型地域スポーツクラブと企業等との連携・協働を推進していく。	
具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ 今回7名の内定者のうち、1ターン就職となった選手がいる。大分県外出身者が大分県で就職し、競技選手として活動を継続する新しい形である。	
→ 今後もUターン、1ターンの選手を増加させるために、経済団体と連携を更に強める必要がある。企業関係者への周知はもとより、選手への周知にも力を入れていく。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 企業と連携し、スポーツイベントを実施。また、年間を通して企業訪問をおこない、賛助会員となっただけよう協力依頼をしている。	
→ オリンピアンを招聘した「かけっこ教室」を今年度も共催で実施。大変好評であった。企業訪問をした成果として、賛助会費が過去最高額となった。今後も引き続き会員を増やしていく努力を続けていく。	
具体的な取組②	障害者社会参加推進室
○ 第41回大分国際車いすマラソンで協賛51社、ボランティア約1,600名の企業支援を受けた。「アスナビ」を通じてこれまで5名の障がい者アスリートが県内企業に就職しているが、令和2年度からは実績なし。	
→ 引き続き、障がい者スポーツへの理解や社会貢献に意欲ある企業と連携し、大分国際車いすマラソンの大会を運営する。加えて、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを継承するため、障がい者スポーツの県内企業の理解促進と障がい者アスリートに対する支援機会の拡大も図る。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 総合型クラブと企業との連携により、参加者のニーズを反映したシンボリックプログラムの充実が図られた。	
→ 事業で得たノウハウを他の総合型地域スポーツクラブにも拡充し、地域の特性に応じたシンボリックなプログラムを創出することでクラブの魅力アップを図れるよう支援を行う。また、総合型地域スポーツクラブの会員数増加に向けて、企業と総合型地域スポーツクラブが連携し、誰でも気軽に参加しやすいプログラムを提供することで地域におけるスポーツ活動を推進する。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ トップアスリート就職支援事業で他県出身の選手の内定が1名いた。	
→ 他県出身の選手でも、大分県の企業に就職し、競技生活を継続する選手に対して積極的に雇用促進を図る。	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅱ	県民スポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 顕彰制度の充実			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① 表彰対象選手の確保			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分県スポーツ協会表彰式	1,000		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組① 障害者社会参加推進室 ○障がい者スポーツの功労者及び前年度に国際大会や全国規模の大会で優秀な成績を収めた選手を表彰した。
具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ ○令和5年度、生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰2名、生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰3団体、スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰1名、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰3名、全国スポーツ推進委員連合優勝団体表彰1団体、30年勤続スポーツ推進委員表彰9名、九州地区スポーツ推進委員功労者表彰7名、大分県スポーツ推進委員功労者表彰16名の生涯スポーツ関係者・団体を表彰した。
具体的な取組③ 体育保健課/競技力向上 ○本県スポーツの振興に長年貢献していただいた方を、国の表彰制度に積極的に推薦した。また県民表彰制度を活用して、全国優勝した選手を年二回表彰した。
具体的な取組④ 県スポーツ協会 ○本県の競技力向上並びに生涯スポーツ功労者を対象にスポーツ協会表彰を実施した。

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組① 障害者社会参加推進室 ○これまで、「令和元年度32名、令和2年度9名、令和3年度12名1団体、令和4年度15名1団体、令和5年度16名1団体」に表彰を実施している。 →令和2年度以来、国内外の各種スポーツ大会が新型コロナの影響で中止又は延期となった関係で表彰者が減少傾向にある。今後、各種大会が復活すれば表彰者は令和元年以前の規模に戻る見込み。今後とも優れた成績を残した県内選手等を顕彰していく。
具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ ○令和5年度、生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰2名、生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰3団体、スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰1名、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰3名、全国スポーツ推進委員連合優勝団体表彰1団体、30年勤続スポーツ推進委員表彰9名、九州地区スポーツ推進委員功労者表彰7名、大分県スポーツ推進委員功労者表彰16名の生涯スポーツ関係者・団体を表彰した。 →今後も、県民の多様なスポーツ活動の励みとなるよう、表彰の内容や顕彰制度の充実に努める必要がある。また、各地域で活躍している方を積極的に推薦を行ってもらうよう市町村に対して助言を行っていく。
具体的な取組③ 体育保健課/競技力向上 ○本県スポーツの振興に長年貢献していただいた方を、国の表彰制度に積極的に推薦した。また県民表彰制度を活用して、全国優勝した選手を年二回表彰した。 →引き続き、国の表彰制度を積極的に活用するよう候補者の潜在リスト作成を進めたい。
具体的な取組④ 県スポーツ協会 ○本県の競技力向上並びに生涯スポーツ功労者を対象にスポーツ協会表彰を実施した。 →令和4年度に改定した表彰規程に基づき、令和6年2月14日に表彰式を開催。今後も、加盟団体との連携を図り、候補者の積極的な推薦をお願いしていく。

項目別テーマ進行管理表

基本目標Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策			
項目別テーマ(1)	競技力向上のための組織の整備・充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 競技団体や学校体育団体等の活性化			
	② 年代や競技の枠を越えた連携体制の整備			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	① 競技団体のガバナンス強化に向けた事業事務説明			
	② 競技団体における選手育成体制の強化			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① チーム大分強化事業	125,479		
	② スポーツ振興基金事業	17,089		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組① 〇 競技団体のガバナンス強化に向けた事業事務説明会(3月実施予定)を計画している。事業報告書の保管義務(5年間)の徹底や出納簿活用を促し、競技団体のガバナンス強化に向けて補助金の取り扱いの適正化を図るよう取り組む。	体育保健課/競技力向上
具体的な取組① 〇 年度当初に、強化指定校(高校)、強化指定団体(企業・クラブチーム等)、強化指定選手(個人)を委嘱し、競技力向上に努めている。また、競技団体の要望等により、必要に応じて競技用具の整備をおこなっている。	県スポーツ協会
具体的な取組② 〇 ジュニア選手(小・中学生)の育成体制の整備を推進している。県選抜チーム等の取り組みとも連携して、競技団体が年間のジュニア選手育成計画を作成し、競技力向上対策本部に提出するように指導している。	体育保健課/競技力向上
具体的な取組② 〇 各競技県選抜チームの取組において、世代に適した指導法や育成体制の整備をおこなっている。	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組① 〇 競技団体や学校体育団体及び地域スポーツ団体に対して各種事業やイベント開催の支援を実施し、審判講習会や指導者研修会、またトレーニングマッチイベント等を実施できた。 → 課題については、部活動の地域移行等に伴い学校体育団体の支援を見直す必要がある。社会の変化や時代に応じて、適切な支援対象に見直していきたい。	体育保健課/競技力向上
具体的な取組① 〇 年度当初に、強化指定校(高校)、強化指定団体(企業・クラブチーム等)、強化指定選手(個人)を委嘱し、競技力向上に努めている。また、競技団体の要望等により、必要に応じて競技用具の整備をおこなっている。 → 県競技力向上対策本部とも連携し、今後も効果的な支援を続けていく。	県スポーツ協会
具体的な取組② 〇 選手育成について、県選抜チームの取組を通じて連携強化を図っている。具体的には陸上競技やソフトボール競技等は、小学生から社会人選手までを対象とした強化練習会を実施し、指導者の連携を図り育成方法の意識統一に取り組んでいる。 → 今後は選手育成の連携強化について他の競技団体にも横展開していく必要がある。実際に実施している競技団体の事例を参考にしながら取り組めるよう情報提供をすすめる。	体育保健課/競技力向上
具体的な取組② 〇 各競技県選抜チームの取組において、世代に適した指導法や育成体制の整備を行っている。 → 様々な支援の結果、鹿児島国体では天皇杯得点1000点の目標を見事達成。今後とも引き続き、各競技の実情に合わせた支援を続けていく。	県スポーツ協会

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(2)	競技力向上に向けた指導体制の充実・強化		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上			
	②	強化拠点となる学校への適切な指導者の配置			
	③	競技者から指導者への好循環サイクルの構築			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	①	計画的な指導者資格の取得を競技団体に促す	③ 指導できる人材の確保		
	②	指導者の適正配置			
関連事業 (令和5年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	チーム大分強化事業	125,479	② 競技別強化担当者会議	45
	②	スポーツ振興基金事業	17,089		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体指導者が公認スポーツ指導者資格の取得にかかる、諸経費(宿泊費及び交通費)に対して補助金を活用できるよう支援した。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 公認スポーツ指導者養成講習会及び公認スポーツ指導者資格更新研修会を実施した。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ スポーツ協会が実施した、競技団体へのヒアリングから得た情報を体育保健課に情報提供してもらい、協議を実施した。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングをおこない、指導者の状況や配置希望を集約。県体育保健課へ情報提供、協議を実施した。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体の普及活動において、現役選手がジュニア選手(小中学生)を対象に、指導する機会を設けるよう働きかけた。ジュニア選手にとっては、現役選手の動きを見て学ぶ機会となり、また現役選手にとっても指導を体験することで、引退後に指導者への道を選択する機会となるよう取り組んでいる。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングを行い、選手の状況や引退後の希望等の情報を集約した。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
人口1万人当たりの公認指導者資格登録数	人	R2	18.8	22.4	29.2	130.4	◎達成	R12	23.6	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ コロナによる制限が無くなり、各競技団体が主催する指導者養成講習会が再開されているが、競技団体による取得計画の変更が追いついていない状況が見られる。	
→ ヒアリングなどを通じて、指導者資格取得の計画を競技団体と情報共有をしながら資格取得を促す。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 指導者更新研修として、公認スポーツ指導者研修会を2回実施。また、スタートコーチ(スポーツ少年団)の養成に取り組んだ。競技団体においても、4競技団体の資格取得の養成講習会を実施した。	
→ 引き続き、各種研修の充実により、公認スポーツ指導者の資格取得による指導者養成と資質向上に取り組んでいく必要がある。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ スポーツ協会が実施した、競技団体へのヒアリングから得た情報を体育保健課に情報提供してもらい、協議を実施した。	
→ 現状として、大分県スポーツ協会が実施する競技団体へのヒアリング資料を元に協議する以外の方法が無い。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングをおこない、指導者の状況や配置希望を集約。県体育保健課へ情報提供、協議を実施した。	
→ 今後も引き続き競技団体と連絡を取り、状況把握に努める。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体の指導者の確保が急務である。競技経験者に対して、指導を経験できる機会を設定する等、競技団体と協議した。	
→ 指導者確保に向けては、普及イベントのサポートや大会審判への参加からはじめるなど、競技団体の活動に触れる機会を設定することが必要である。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 競技団体とのヒアリングを行い、選手の状況や引退後の希望等の情報を集約した。	
→ 必要に応じて、県競技力向上対策本部と連携を図り、「大分アスナビ」等の事業活用を競技団体に促していく。	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(3)	競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大			
	②	関係団体と連携した一貫指導体制の構築			
	③	関係団体と連携した強化事業の充実			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	①	競技団体のジュニア普及に向けた広報	③ 関係団体との連携		
	②	一貫指導体制の構築に向けた指導者確保			
関連事業 (令和5年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	チーム大分強化事業	125,479	① ジュニア選手発掘支援事業	1,430
	①	スポーツ振興基金事業	17,089		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○地域のスポーツ団体等と連携した競技体験教室や、普及振興を目的とした各種大会に取り組んだ。各地域のスポーツ協会が中心となって地域の特色を活かしたスポーツ振興を図った。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ジュニア選手の発掘に向けた事業を実施した。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○競技団体が県選抜選手の育成について年間指導計画を作成するよう指導し、計画的に選手育成を実施した。特に中学年代における計画的な選手育成により、故障やオーバートレーニングを防ぐよう取り組んでいる。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○大分県スポーツ協会と連携し、全国で活躍できる可能性のある団体や個人に対して、大会や強化合宿、県外遠征等の経費に対して補助し、効果的な選手育成を図った。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○競技団体とのヒアリングを行い、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施した。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
国際大会出場者数	人	R1	32.0	50.0	51	102.0	◎達成	R12	60.0	競技力向上対策班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○競技団体主催のジュニアアスリート発掘事業アカデミー活動の充実を図った。アカデミー活動の計画的実施や指導体制の充実に取り組んだ。	
一競技団体により、指導体制の充実に差がある。ジュニアアスリートの普及・育成まで対応できていない状況がある。引き続き、競技団体や有識者と連携して体制作りに取り組んでいく。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ジュニア選手の発掘に向けた事業を実施した。	
一希望した12団体に補助金を交付した。今後も競技団体や地域スポーツ協会に積極的に事業実施を進めていく。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○一貫指導体制の構築に向けて、まずは中学生世代の選手育成体制の充実を図るよう活動費を補助して、取り組みを推進した。	
一課題の指導者確保については、競技団体と連携しながら、指導者の掘り起こしに取り組んでいる。しかしながら、課題解消には至っていない。引き続き、競技経験者や審判経験者等を指導者としても活動できるようサポートする。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○中央競技団体の作成した競技者育成プログラム等の活用について、競技団体の強化責任者に対して更なる普及啓発を推進した。	
一競技団体の強化責任者に対して、中央競技団体の競技者育成プログラムの活用を引き続き促していく。競技団体のヒアリングの際に、活用状況を確認する。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○競技団体とのヒアリングをおこない、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施した。	
一県競技力向上対策本部とも情報共有しながら、効果的な支援に繋がるようにしていく。	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策				
項目別テーマ	(4)	競技力向上に必要な諸条件の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	スポーツ医学の知見等を活用した支援体制の整備	③	広報活動の推進	
	②	アスリートが継続的に活動できる就職支援			
R4点検・評価 で整理した 課題・改善点	①	競技団体内にスポーツ医学担当者を配置	③	県外在住アスリートの情報収集	
	②	採用後のアスリートのフォロー体制			
関連事業 (令和5年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	チーム大分強化事業	125,479	② スポーツ振興基金事業	17,089
	①	医学研修講座	600		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ スポーツドクターやトレーナーを積極的に活用している。現時点では、競技団体内にスポーツ医学委員会の設置は難しい状況にあるが、担当者及び責任者の配置について推進するよう取り組んでいる。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 各競技団体の医学担当者や、スポーツ少年団指導者への研修会や、国体選手を対象としてアンチ・ドーピング教育を実施した。また、優秀指定選手を対象としたサポート事業を実施した。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ トップアスリート就職支援事業を実施し、7名の新規採用者が決定した。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 年間を通しておこなっている企業訪問の中で、選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を依頼している。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 県外在住のアスリートが国際大会等に出場する情報を競技団体から収集した。また報道機関にも情報を提供し、選手の活躍を広く県民に広報できるよう取り組んだ。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ ホームページ、YouTube、Instagramを活用した情報発信を実施している。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○ 競技団体内にスポーツ医学の担当者及び責任者を配置するよう取り組んでいる。チームや世代毎に医学担当者の配置は進んでいる。	
→ 競技団体の中で、選手育成の活動状況に応じて医学活用に取り組んでいるが、それを統括する医学委員会の設置までは至っていない団体が多い。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○ 各競技団体の医学担当者や、スポーツ少年団指導者への研修会や、国体選手を対象としてアンチ・ドーピング教育を実施した。また、優秀指定選手を対象としたサポート事業を実施した。	
→ 研修会の内容については、毎年タイムリーなものにしていく必要がある。優秀指定選手を対象としたサポート事業については、選手の状況に応じたものにし、競技力の向上に繋げていきたい。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○ トップアスリート就職支援事業を実施し、7名の新規採用者が決定した。	
→ 6月のアスナビ説明会及び、1月のアスナビ交流会を実施し、採用後の企業・選手に対してのフォローを実施。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 年間を通しておこなっている企業訪問の中で、選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を依頼している。	
→ 県競技力向上対策本部とも連携を取り、大分県へのU・I・Jターンを希望する選手の情報を共有する。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 県外在住のアスリートが国際大会等に出場する情報を競技団体から収集した。また報道機関にも情報を提供し、選手の活躍を広く県民に広報できるよう取り組んだ。	
→ 引き続き、報道機関やSNS等を活用して、タイムリーなアスリートの活躍を広く県民に広報する	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ ホームページ、YouTube、Instagramを活用した情報発信を実施している。	
→ 意識して更新しているものの、頻度を増やすためには、人員の確保も必要である。	

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅳ	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(1)	国際スポーツ大会等の誘致		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致	③ キャンプ受入国との継続的な交流の推進		
	② 国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① 官民一体となった誘致活動	③ 市町村や関係団体との連携強化		
	② 市町村や関係団体との連携強化			
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① おおいたラグビー次世代継承事業	45,811	③ 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323
	② ツール・ド・九州推進事業	83,083		
	② 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組① ○ ラグビーワールドカップ2019のレガシーとして、2023-2024シーズン ラグビーリーグワンDIVISION1の試合が県内で2試合開催される。また、10月に福岡県・熊本県・大分県で初開催となった国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2023」において、大分県では日田市を舞台とした大分ステージを開催し、当日は約2万7千人の観戦客があった。	芸術文化スポーツ振興課
具体的な取組② ○ 7月に福岡県で開催された世界水泳に出場したアメリカ・ハンガリーの女子水球代表が大分市内で事前合宿を行うなど、令和5年度でナショナルチーム等の合宿が約20件行われた。	芸術文化スポーツ振興課
具体的な取組③ ○ 来年東京で開催予定の世界陸上を見据えて、東京2020オリンピックの際に大分市をホストタウンとしたポルトガルと情報交換した。	芸術文化スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組① ○ ツール・ド・九州2023やキッズスケートボードの全国コンテスト「FLAKE CUP」など、国際的なスポーツ大会や国内トップレベルの大会を誘致することができた。 → 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して国際スポーツ大会等の誘致活動を行う。	芸術文化スポーツ振興課
具体的な取組② ○ ツール・ド・九州など、近隣で行われる国際的なスポーツ大会にあわせて、参加するチームに対して事前キャンプを誘致するなど、取組を広げていく必要がある。 → 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致に取り組む。	芸術文化スポーツ振興課
具体的な取組③ ○ 事前キャンプ等を受入れた国々との交流に取り組む必要がある。 → 引き続き、市町村と連携しながらホストタウン登録している16カ国との交流を進めていく。	芸術文化スポーツ振興課

項目別テーマ進行管理表

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(2)	スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① 国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出	③ まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現		
	② 市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大	④ スポーツツーリズムの推進		
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① 市町村や関係団体との連携強化	③ 円滑な試合運営の確保		
	② 市町村や関係団体との連携強化	④ ホームページの認知度向上		
関連事業 (令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323		
	② 大分スポーツ地域活力創出事業	47,323		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ ラグビーワールドカップ2023日本代表の予選2試合を大分駅前パブリックビューイングし、多くの観戦客が訪れた。また、国際自転車ロードレースの「ツール・ド・九州2023」にも、福岡県・熊本県とともに参加し、日田市を舞台とする大分ステージには約2万7千人も観戦客が訪れた。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で合宿を受入れたラグビー、野球、陸上、バレーボール、ハンドボール、ソフトボールなどのチームと地域住民との交流事業を行った。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 大分トリニータや横浜キャノンイーグルスのホームゲームでは、交通渋滞を避けるためシャトルバスを運行するとともに、県警など関係機関と連携し渋滞対策を行った。また、大分スポーツ公園東駐車場をアーバンスポーツエリアとして開放し新たな集客に努めている。</p>
<p>具体的な取組④ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ スポーツ施設や宿泊施設を一元的に発信するWebサイト「スポ泊!おおいた」を運用し、スポーツツーリズムを推進した。また、ツール・ド・九州2023を通じてレースの舞台となった日田市を中心に国内外に大分県の情報発信を行い、県外からの観戦客が一定数あった。</p>

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
合宿等受入人数	人	R1	63.172	85.000	43	50.6	×	R12	90.000	芸術文化スポーツ振興課

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 令和5年度に続きツール・ド・九州は令和6年度にも開催される。トップレベルのスポーツ大会や合宿の誘致にあわせて県民がスポーツに触れる機会を増やしていく必要がある。</p> <p>→ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、あらゆる機会を活用して合宿誘致したトップレベルのチームと地域住民等との交流を推進する。また、競技団体等と連携して国際大会等のスポーツイベントの誘致に向けて取り組んでいく。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 市町村ごとの特色にあわせたスポーツ合宿の誘致に取り組むとともに、誘致したトップレベルのチームと地域住民との交流機会を増やすことが必要である。</p> <p>→ 大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して誘致活動を行い、住民等との交流を推進する。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 大分トリニータや横浜キャノンイーグルスなどと連携して、交通渋滞等が発生しないよう、情報共有を図っている。</p> <p>→ 引き続き、チームや県警等の関係機関と情報共有を図っていく。また、アーバンスポーツエリアの認知度を高めるため、施設管理者等と意見交換していく。</p>
<p>具体的な取組④ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ Webサイト「スポ泊!おおいた」の認知度を上げる必要がある。</p> <p>→ SNS等を活用したターゲット広告を行い、幅広く周知していく。</p>

項目別テーマ進行管理表

基本目標	Ⅳ	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(3)	ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	① ラグビー文化の定着	③ 世界トップクラスの国際試合等の誘致		
	② 大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進			
R4点検・評価で整理した課題・改善点	① ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承			
	② ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承			
関連事業(令和5年度)	事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	① おおいたラグビー次世代継承事業	45,811		
	② おおいたラグビー次世代継承事業	45,811		

2. 令和5年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 幼稚園・小学校等を対象としたタグラグビー教室や、未経験者を対象としたラグビー体験会を開催したほか、元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏と連携しタグラグビーや車いすラグビーなどの体験イベントを行った。また、ラグビーワールドカップ2023の日本代表予選2試合について、大分駅前パブリックビューイングを開催し、多くの観戦客が集まった。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 大分で試合を行ったウェールズとはラグビーに関わらず、大分県立美術館がウェールズ国立博物館とMOUを締結するなどの文化交流を継続している。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 大分県をセカンダリーホストエリアとするラグビーリーグワンDIVISION1の横浜キャノンイーグルスが、大分県では今季2試合の開催を予定しており、県民が世界トップレベルのプレーを間近で見られる機会を提供することができる。</p>

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R5年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ ラグビー文化の定着に向けて、これまでどおり幼稚園児や小学生など子どもたちがラグビーに触れる機会を創出するとともに、大分県ラグビー協会や横浜キャノンイーグルスと連携し県内のラグビー熱を高める取組を進めていく必要がある。</p> <p>→ タグラグビー教室やラグビー体験会、大分で合宿するトップチームとの交流に加え、県内ラグビー界全体の機運や結束を高めるような交流会を開催することにより、ラグビー人口の拡大につなげていく。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ ワールドカップで来県した国や地域との交流を継続していく必要がある。</p> <p>→ ラグビーだけでなく、芸術文化などでも継続して交流を実施していく。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○ 今後も、ラグビーワールドカップ2019の開催実績を活かし、日本代表戦の大分開催を目指す。</p> <p>→ 日本代表戦の大分開催に向けて、(公財)日本ラグビーフットボール協会等の関係機関と連携して取り組んでいく。</p>

